

公益財団法人 慈愛会 鹿児島中央看護専門学校

2年課程（通信制）看護科 記念誌



公益財団法人 慈愛会 鹿児島中央看護専門学校

2年課程（通信制）看護科 記念誌

公益財団法人 慈愛会 鹿児島中央看護専門学校

2年課程(通信制)看護科 記念誌

CONTENTS

ごあいさつ

鹿児島中央看護専門学校 校長 今 村 英 仁	1
------------------------------	---

寄 稿

放送大学鹿児島学習センター 所長 住 吉 文 夫	2
公益社団法人鹿児島県看護協会 会長 田 畑 千穂子	3
鹿児島中央看護専門学校 前 校 長 冨 安 恵 子	4
” 元副校長 松 下 チズ子	5
” 元副校長 原 田 ゆう子	6

修了生メッセージ

平成 18 年度入学生 生 見 千 鶴	8
平成 18 年度入学生 芝 原 栄 作	9
平成 19 年度入学生 矢 野 幸 一	10
平成 20 年度入学生 喜 村 美千代	11
平成 21 年度入学生 安 在 あつ子	12
平成 22 年度入学生 照 屋 清 子	13
平成 23 年度入学生 椎 屋 めぐみ	14
平成 24 年度入学生 三 角 裕 子	15
平成 25 年度入学生 新 居 和 久	16
平成 26 年度入学生 高 崎 眞 彰	17
平成 27 年度入学生 春 口 章 子	18
平成 28 年度入学生 石 山 大 作	19
平成 29 年度入学生 松 本 哲 治	20
平成 30 年度入学生 谷 口 寛 子	21
平成 31 年度入学生 丸 谷 彩 子	22
令和 2 年度入学生 中 村 朝 香	23
学校長賞受賞者一覧	24

学校概要と教育課程	26
-----------------	----

資 料	40
-----------	----

編集後記	51
------------	----



鹿児島中央看護専門学校 2年課程（通信制）看護科 閉課程にあたって

鹿児島中央看護専門学校
校長 今村 英 仁

令和4年（2022年）、鹿児島中央看護専門学校 2年課程（通信制）看護科は15期生を送り出したのち閉課程となります。平成18年（2006年）4月に開設してから17年の歴史を刻みました。この間に、働きながら看護師免許取得を目指す准看護師さんが2,402名入学しました。2年間の厳しい学業を成し遂げた修了生が2,282名、そして、看護師免許を取得した修了生が（2,110名）です。鹿児島県が主ですが、宮崎県、沖縄県、熊本県からも入学してくれました。

本課程に入学された皆さんは、多くの方が仕事と家庭を抱え、学業との両立を図りつつ、さらに、様々な困難を乗り越えて修了し、晴れて看護師免許を取得していきました。誰もが人生で一番勉強したと言い、看護師免許取得時の笑顔は、達成感と自信に満ち溢れ、一回りも二回りも成長された素晴らしい表情を見せてくれました。看護師になってから大活躍している修了生の話をよく耳にします。この素晴らしい2年課程（通信制）看護科もその役割をほぼ終えたと判断して閉課程としました。

本校の歴史は、昭和38年（1963年）4月に定時制の准看護師養成の学校として開校したのが始まりです。まもなく、全日制となり、その後、准看護師から看護師になる2年課程のコースが併設となります。准看護科の閉課程、2年課程の看護科にレギュラーコースと言われる3年課程を併設したのが平成15年4月です。平成17年3月に2年課程の看護科が閉課程となり、その翌年の平成18年4月に2年課程（通信制）看護科が開設されます。ほぼ60年の歴史を持つ本校は初めから今の姿をしていたのではなくて、進化を遂げながら現在の姿となったのです。一つ言えるのは、どの課程の卒業生・修了生であっても皆さん鹿児島中央看護専門学校の大事なOG・OBです。母体となる公益財団法人慈愛会はまもなく90年の歴史を刻みますが、これからも本校を大事に育て、本課程を修了された皆さんがいつでも遊びに立ち寄れるように致します。皆さんもいつでも気軽にお立ち寄りください。

修了生の皆さんがこれからも益々ご活躍されることを祈願して閉課程の挨拶と致します。



16年間の連携を顧みて

放送大学鹿児島学習センター

所長 住吉 文夫

まずもって、2年課程（通信制）看護科が平成18年度に設置されてからこれまでの16年間にわたって看護教育に尽力された教員・職員の方々に心から労いの気持ちを表したいと思います。

本課程のカリキュラムは、鹿児島中央看護専門学校側で開講される教育科目33単位と放送大学の32単位を履修する形で組まれておりました。それゆえ、今年度末をもって閉課程となることに、放送大学鹿児島学習センター所長として一抹の寂しさを禁じえません。

放送大学の科目については、全国共通の放送授業だけでなく、鹿児島学習センターで企画し開講した面接授業（対面授業）も学生さんたちの教育に大いに役に立ったのではと思っています。面接授業は、鹿児島県内の大学教員や実務教員などの協力を得て、鹿児島地域特有の特色ある科目や外国語科目などを開講しておりました。

「医療現場での実用英語」という面接授業科目を受講した学生が、「英語は得意ではないのですが、具合が悪くて病院に来た外国人を見かけたら思い切って英語で声をかけてみよう、と思うようになりました。」と、受講後のアンケートに書いておられたのにはとても感動いたしました。「異国の地で具合が悪くなった外国人は、ちょっとした声掛けがあるだけで不安が和らぎ楽になります。」との授業担当講師の話に気づかされたそうですから。このように、放送大学での学びが卒業生の人生をいくらかでも豊かにし、豊かな社会の形成につながれば、放送大学の一員としてこの上ない喜びです。

今年度末で閉課程にはなりますが、卒業生はもちろん、関わりのあった全ての皆様のこれからが素晴らしい人生であり、また、この課程が16年間にわたり存在した意義が長く語り継がれることを祈念します。



看護師の誇りを胸に

公益社団法人鹿児島県看護協会

会 長 田 畑 千穂子

鹿児島中央看護専門学校のご卒業の皆様、学校関係者の皆様、令和3年度をもって2年課程（通信制）が閉課程となりますが、これまでの感謝を込めてご挨拶申し上げます。

貴校は平成18年4月開設され、毎年150名前後の卒業生を送り出され、学生達にとって「看護師への夢を叶える場」であり、学業と臨床現場の両立に苦勞しながらもこころのより所でもありました。

慈愛の意味に「我が子を愛するようないつくしみの気持ち」とあります。常に慈しみを注いで愛する心で患者に寄り添うことは、「看護」そのものであります。慈愛精神の基、看護師への夢を実現された卒業生の皆様は、鹿児島市に留まらず、離島・へき地に至るまで、超急性期から慢性期、精神科領域や在宅領域など、鹿児島県の保健・介護・福祉・教育関係のあらゆる場でご活躍されております。また、コロナ禍で、認定看護師として活動された方は、鹿児島の危機的な医療体制を支えるという、素晴らしい活躍を示されました。夢を持ち、夢を叶え、看護師としての誇りを胸に抱きつつ、歩を止めず、さらに高みへと幸せな看護師人生を歩み続けて頂きたいと願っております。

本県は、平成12年に看護師数が准看護師数を上回り、平成26年に看護師数が2万人を超えました。看護基礎教育に対する鹿児島中央看護専門学校関係者の多大なる貢献に、厚く御礼申し上げます。時代の先を見据え、情熱を傾けた看護基礎教育へのナイチンゲールの灯は、次の世代へと受け継がれていくものと考えます。

最後に、本県はこれから本格的な超少子高齢化を迎えます。医療に関する課題は山積ですが、貴校の卒業生が地域のリーダーとなり様々な分野でご活躍されますことを心から願っております。



看護師になる夢を支援し続けた16年

鹿児島中央看護専門学校

前校長 富安恵子

平成18年4月、准看護師が看護師資格を得るための鹿児島県で唯一の看護課程として開設してから16年、2,110人もの看護師資格者が誕生しました。このことは鹿児島県だけでなく、入学者が多かった沖縄県や宮崎県などの看護の質の向上に大きな役割を果たしたと思います。

学生の尋常ではない努力は勿論のこと、教職員も学生の夢実現のために全力で支援してきました。学生の努力と教職員の支援が見事な相乗効果を生み出し、止む得ない事情で少しの脱落者はあったものの、多くの学生が看護師の資格を取得し県内外で活躍してくださっていることは、本当に喜ばしいことだと思います。

私は在職中、入学式や国家試験壮行会、修了式などで学生の様子をつぶさに拝見する機会が何回かありました。

入学式ではこれから始まる学生生活に希望や喜びとともに不安げで緊張している様子も伺え、壇上から「大変な日々が続くけど途中で諦めず最後まで頑張ってもらいたい」と心からのエールを送ったことを覚えています。

国家試験壮行会では教職員が心のこもった企画で激励し、学生も力強く感じている様子でした。そして、国家試験会場でこれから受験する学生に激励の声を掛けたことがあったのですが、ある学生が後を追ってきて「この学校に入学出来て心から良かったと感謝しています。先生方が一人一人に丁寧に熱心に指導してくださったお陰で、めげそうになった時も諦めずに今日まで頑張ってくることが出来ました。自分のためだけでなく応援してくれた家族や職場の仲間、そして先生方の指導に応えられるように今日は全力で頑張ります」と、わざわざ伝えにきてくれたのです。とても嬉しく感激しました。そして、学生たちは多くの人の支援を受けそのことに感謝しながら、職場や家庭での役割を果たしつつ本当に必死で学業に取り組んできたのだと改めて実感しました。

修了式の時には皆精一杯頑張ってきたという達成感で、とても満足気な表情をしているように見受けられました。

通信制での教育は対面での授業が少なく、紙面や電話等での指導や相談が多いため、学生と教職員の関係はややもすれば希薄になりやすく、互いの信頼関係を築くのも大変難しいことが多いと思います。

しかし、鹿児島中央看護専門学校2年課程（通信制）看護科の学生と教職員の様子を見る限り、本当に強い絆で結ばれており、そのことが良い教育効果をあげてきたと感じています。

そこには、教職員の学生個々の状況をしっかりと把握し、それぞれに応じた指導と気になる学生には親身になって相談にのるという、並々ならぬ努力があったと思います。だからこそ、修了式の時には学生と教職員が互いに抱き合って喜び合うという光景を見ることが出来たのでしょう。

今年度で閉課程になることは残念で寂しい気はしますが、一定の役割を果たしたということだと思います。最後まで学生に心からの支援を続けてこられた教職員の皆さんには、衷心より労いと賛辞の言葉を送りたいと思います。



創設当時の頃を思い出して

鹿児島中央看護専門学校

元副校長 **松 下 チズ子**

南九州で唯一を誇った看護師養成2年課程（通信制）看護科が16年の歴史を閉じて消え去ろうとしています。「いつかこの日が来るであろう」と、そんな思いで保管していた創設当初の私個人の記録を、「もう日の目を見ることはない」という寂しさを抱きながら開いています。

私は、平成18年創設時から25年3月まで副校長を務めさせていただきました。

この期間の8年間に1,475名の入学生、1,034名の修了生、950名の看護師有資格者を出す教育に直接参加できました。大変光栄なことだったと思っています。

平成18年の鹿児島県内の就業看護職27,648人、その内に11,200人の准看護師が就業していました。鹿児島県の看護職全就業者の40.8%を占めており、この数は県民の健康を守る担い手として大変重要な存在であるといっても過言ではない状況でした。

その頃、進学したくても進学時の年齢と学習への不安、さらに経済的に余裕がない等々でためらっている経験豊かな准看護師がたくさんいました。また、当時は鹿児島県内の2年課程への進学コースの定員は150人となり減少傾向が顕著でした。進学コースの現実、新卒の准看護師の進学の道となっており就業経験者の進学への道が狭まっていたのです。10年以上の就業経験者に進学の道を開けたこの通信教育は賛否両論ありましたが、時期を得た教育方法だったと思います。

けれども、平成16年から始まったこの2年課程（通信制）看護科については、一般には殆ど知られていない状況でした。入学条件、費用、カリキュラム、面接授業、臨地実習に関する事などへの周知と不安に対処することが必要でした。また、働きながら進学を希望する人は職場や家族の協力も得られないといけません。

様々な場で、周知活動と募集活動をしました。看護のレベルアップに貢献するのだという強い意志で動きまわったことが忘れられません。この活動には、日本看護協会、特に鹿児島県、宮崎県、沖縄県の看護協会の協力がありました。看護のレベルを上げたいという協会の熱意が後押ししてくれたと思っています。

また、臨地実習場の確保には、学生の居住地近くで積極的な協力が得られたことは励みになりました。

この教育方法の必要性を理解する人々の協力があつたからこそ成り立ったと思っています。

初年度はキャンセ鹿児島のホールで202名の入学生を迎え盛大に入学式を挙行了しました。

20歳代から60歳代の入学生一人ひとりと呼名しました。「働きながらの学習が成就しますように」と祈るような気持ちを込めての入学式でした。けれども、憂えることはありませんでした。

「あいまいな知識が少しずつ無くなります」「患者さんを想像しながら学ぶことで充実しています」「認定看護師や新たな資格を得たいと思うようになりました」などの言葉と、面接授業での目の輝き、国家試験前のひたむきな姿、看護師国家試験合格の喜びに、かえって私共が力を貰えた日々だったと思ひ返されます。

1月中旬寒風の陽だまりで咲くすみれを見つけました。暑さ寒さに強く世界中に何種類もあり花の色は紫色、白色、黄色、桜色など様々、葉の形はまるい形、卵型、葉に深い切れ込みがあるものなど様々です。

花言は「謙虚」「誠実」「愛」です。そのすみれのような、個性豊かなそれぞれが違うものを持っている皆様とつながっていることを誇りに思います。

最後に、卒業生や関係者の皆様のご健康とご健闘をお祈りいたします。そして、これからもその人らしさで自分の人生を精一杯に生きてほしいと願っています。支えていただいた関係者の皆様ありがとうございました。心からお礼申し上げます。



閉課程記念誌発行に寄せて

鹿児島中央看護専門学校

元副校長 原 田 ゆう子

厚労省の准看護師問題検討委員会報告（平成8年）によると、日本の准看護師教育の始まりについて、「戦後急激に病院が増設され看護婦（師）の需要が極めて大きくなった。当時の高校進学率は37%で高校を卒業要件とする看護婦（師）を十分確保するには難しかった。このような時代背景で中学校卒業を資格とする看護婦（師）を補助するものとして准看護師（師）制度が昭和26年に発足した。この資格による准看護師が看護師不足を補い、地域医療・福祉の向上に大きな役割を果たしてきたことを評価する。さらに、これらの准看護師養成に長年にわたる多くの方々の努力によって支えられてきたものであることを忘れてはならない。21世紀初頭の早い段階を目途に准看護師養成制度の統合に努めなければならない」と提言されています。

年月を経て、2004年（H16年）に2年課程通信制の看護師教育機関が創設されました。本校はその2年後2006年（H18）に開校しました。当初の入学資格は経験年数10年以上であったのが、2018年から7年以上に改定されています。

当初は全国に20校ありましたが、令和3年度本校の閉課程後、現在では16校に減少し、九州に残っているのは麻生看護大学校看護科通信課程1校だけになりました。

16年の歴史に幕をおろす本校での懐かしい思い出が胸をよぎりますが、それらは、目標であった“看護師国家試験合格”を手にした2,000人を超える修了生の皆さんをはじめ、学生さん達に慕われ信頼されていた専任教員の方々や、50人を超える添削指導員、九州各県の看護協会や実習協力病院・施設の方々と、挙げれば限りのない関係者皆様のお陰であると確信しております。更に、32単位の授業科目を提供して頂いた放送大学のご尽力も忘れるわけにはいきません。

そして何よりも更に感謝申し上げなければならないのは、戦後から今まで看護師・准看護師教育に深い理解と実践を続けてこられた日本看護界の重鎮「今村節子先生」と、本校の開校を英断されたご長男の「今村英仁慈愛会理事長」に対してです。

鹿児島県内の看護職員従事者は県保健福祉部の「令和2年看護職員の就業状況調査」によると、看護師・准看護師の割合は、看護師78%（約17,100人）、准看護師22%（約4,700人）となっています。日本看護協会資料によると、20年前の平成12年は看護師44%（約8,200人）、准看護師56%（約10,600人）でした。この看護師割合増加の成因には、本校の教育の貢献もあることを自負しています。

本校で学んだ学生の皆さんは比較的小さな医療機関、老健施設、介護施設・福祉施設で働きながら頑張った人も多く、本校の実習施設となっている大きな病院で多くの学びを得ていました。苦労は多かったと思いますが、努力の結果はこれからの人生を支える大きな財産になることを願ってやみません。



修了生

メッセージ





平成 18 年度入学生 生 見 千 鶴

18 歳から准看護師で働き、40 歳で鹿児島中央看護専門学校 2 年課程通信制に入学し、看護師の道を目指しました。

鹿児島中央看護専門学校 2 年課程通信制第一期生の私は、頼る先輩もおらず未知の世界で右往左往し、先生に泣きついたこともありました。若い時とは違い、居眠りもせずに授業を受け、わかった！ 覚えた！ と思っても再び忘れ本を開くことを繰り返しながら、人生で最も学習し必死でした。ようやく迎えた国家試験の壮行会では「やっとここまでたどり着いた」と安堵し、涙したことを思い出します。難関の看護師国家試験に合格！ 卒業して 10 数年たった今でもあの合格の喜びを忘れることはありません。

今は管理職の道に足を踏み入れて、職員の育成に奮闘している日々です。

学校がいよいよ閉課程と聞き、とても寂しい思いがあります。看護師としての今の自分があるのも、先生や同期生に支えていただいたおかげだと感謝しています。ありがとうございました。

(公益財団法人慈愛会 谷山病院看護師長)





平成 18 年度入学生 芝 原 栄 作

2年課程通信制の思い出と私の今

私が学生時代、勉強していると、膝の上に座り「遊ぼう、遊ぼう」と連呼していた娘は、白髪混じりになった父の勇姿を見てか、報道で見た新型コロナと戦う医療戦士に感動したのか今春から看護学校へ通っている。そんな元気な姿を見ると、ふと通信課程在学中に学業・仕事・家庭と、寝る間を惜しんで努力していた日々を昨日の事の様に思い出す。仕事をしながらの学業は、大変ではあったが学ぶ楽しさ、有難さを再認識した良い機会だった。

卒業後は、職場で電子カルテを導入し、病院建て替え、介護施設との連携と初めての経験をした。現在は、新型コロナ対策を職員一丸となって行っている。感染症や未知の事を、仲間と共に学び、知恵を出し合い、改善しながら難問を解決していく。その過程を肴に「だれやめ」をする。このひとときが私の至福の時間となっている。

就職して 34 年、通信課程を卒業する仲間も来年で 5 人となる。卒業生は在學生に学習方法をアドバイスし、その折れそうな心を励まし、体調を気遣い、学生はその優しさにふれて卒業生や仲間感謝するという素敵な関係が出来ている。

「難が無い人生は無難な人生、難が有る人生は有り難い人生」という、難から学び、歳を重ねてほんの少しだけ人に優しくなれている気がする。





平成 19 年度入学生 矢 野 幸 一

2年課程通信制の看護学校があると同僚に聞き、看護師になりたい！と受験したのが13年前です。キャリア・スキルに乏しく看護に自信が持てず悩んでいた時、鹿児島中央看護専門学校に入学しました。放送大学も同時入学で期限内に必修科目を習得するために計画的に受講したり、ビデオやBS放送での自宅学習など、新鮮でした。面接授業や国試に向けては、科学的根拠や重要点を理解出来るようにと私たちに面白く・楽しく・インパクトある授業をして下さった事を覚えています。無事国家試験にも合格し、卒業後は念願の急性期病院で勤務し、今は訪問看護師として在宅で療養したい方々の生活を支援させて頂き、日々充実しています。今のキャリアは学校に行かなければ経験できないものでした。先日、閉課程すると聞き、驚きと淋しく思います。学習環境や学ぶことの大切さ楽しさを再認識させて頂いた先生方や学校、関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



平成20年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 平成21年3月9日



平成 20 年度入学生 喜 村 美千代

離島に住む私にとって2年課程通信制とのご縁で価値観が変化し、卒業後は積極的に資格取得に励み、研修会に参加するようになりました。2年間距離的な問題に関連した困難なこともありましたが、コロナ禍の今その生活がいかに有難いことだったか感じています。講義が進むにつれ課題も増え焦る私は、いつも周囲の人々に支えられ、国試数か月前に怪我をして、松葉杖と共に沖縄へ通ったこともありましたが、模試の結果が振るわず叱咤激励してくださった先生方の言葉は、今でも繋がるが多く、支えられていることを実感しています。

私は4月から役場の一般職に配属されましたが、コロナや災害で生活様式が変化してきた今、通信制で学んだことが役立っています。多様化していく時代に戸惑いながらも、ネット社会に適応するよう努力しています。

今日の大変な状況の中、様々な事情の方がおられると思いますが、皆様のご健康とご健勝をお祈りしています。



平成21年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 平成22年3月11日



平成 21 年度入学生 安 在 あつ子

このまま定年を迎え「看護職をしていました」と言えるのだろうかと自分の知識のなさに不安を感じ勉強したいと思い、鹿児島中央看護専門学校 2 年課程通信制の説明会に参加しました。科学的根拠に基づいた看護の勉強をすると説明があり、自分が求めていたことだ、ここなら頑張れると思い、4 期生として入学しました。放送大学との同時入学でとてもハードでしたが、同期生と互いに励まし合い、頑張ることができました。人生の中で最も勉強し、集中した時間でした。面接授業は毎回楽しく、釘付けで聞きました。しかし、紙上事例では、大きな山の麓に立って、目の前が何も見えない状態で前に進むことができなくなることがしばしばありました。学校に行き、同期生に会え、先生方が笑顔で声をかけて下さったことがとても支えになりました。国家試験に合格し、仕事にも心のゆとりを持って従事することができ、定年退職しました。

現在は、高齢の母と暮らしながら、新たな職場に勤めています。患者様が安心してゆったりとした心で過ごしていただけるよう援助しています。閉課程と聞き、寂しい思いです。科学的根拠に基づいた看護判断ができるように導いてくださった関係者の皆様や先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。(宮崎県在住)



平成22年度 鹿児島中央看護専門学校 2年課程(通信制)看護科 修了式 平成23年3月10日



平成 22 年度入学生 照 屋 清 子

何かを学ぶのに年齢は関係ない。そう実感したのは鹿児島中央看護専門学校 2 年課程通信制で学び、40 歳で看護師免許を取得できたからです。入学前は、仕事と両立できるか？今更勉強についていけるか？などの不安でいっぱいでしたが、目の前のことを一つ一つ解決していく、諦めない。そうした日々を少しずつ積み重ねました。思い通りにいかない日もありましたが、職場の協力や先輩方や先生方の助言が励みになりました。

私は今健康管理センターで主に人間ドックを中心とした健診に関わっています。

癌発見のみならず、生活習慣病の早期発見、予防といった対策が重要とされる現代、受診者に寄り添った保健指導を心がけるよう、また新たに学ぶ日々でもあります。

2 年課程通信制が閉課程されると聞き、驚きと残念な気持ちですが修了生はそれぞれの地域でこれからも看護に対する想いを繋いでいくと思います。最後になりましたが非常に有意義な時間をありがとうございました。(沖縄県在住)



平成23年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 平成24年3月8日



平成 23 年度入学生 椎 屋 めぐみ

私は、平成 12 年に准看護師免許を取得しました。育児と仕事を両立させながら、看護師を目指すために、2 年課程通信制で学びたいと思っていました。当時は県内に通信制の学校はありませんでしたが、鹿児島中央看護専門学校に 2 年課程通信制ができ、受験資格を得るための実務期間の 1 日 1 日を大切に務めてまいりました。上司や同僚、家族の応援もあり、看護師になることができました。学生時代は課題に追われ、辛いこともありましたが、今では良い思い出です。

現在の私は、応援してくださった上司の期待に応えるべく、病棟主任として後進の指導、業務改善にあたっています。実習指導者講習会も受講し、学生指導の傍ら、昨年度からは当校の基礎看護学の添削指導にも携わらせていただきました。指導を通し、初心に帰り、様々な学びを得て、充実した毎日を送っています。

これまでに出会った全ての皆様に深く感謝し、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。(鹿児島県在住)



平成 24 年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 平成 25 年 3 月 7 日



平成 24 年度入学生 三 角 裕 子

看護師として働きたいという思いで平成 24 年に鹿児島中央看護専門学校 2 年課程（通信制）看護科に入学しました。入学当時は通信制の厳しさを実感し、仕事との両立に不安もありましたが、覚悟を決めたからには頑張ろうと必死でした。そして、先生方の熱心な指導の下、2 年間で無事に資格を取得することができ、あの時の達成感は今でも忘れません。

私は在学当時から勤務している病院で現在、外来師長として勤務しています。当時から支えてくれた仲間達と共に、日々奮闘しながら、充実した日々を送っています。

学校が閉課程と聞き、とても寂しい気持ちですが、あの時共に励んだ仲間や、先生方との思い出は消えることはありません。2 年間で学んだ「根拠に基づいた看護」を活かし、これからも励んで参ります。看護師としてのステップアップへのお力添えを頂いた先生方には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



平成 25 年度 鹿児島中央看護専門学校 2 年課程(通信制)看護科 修了式 平成 26 年 3 月 10 日



平成 25 年度入学生 新 居 和 久

准看護師免許を取得して沖縄で働いていました。職場の先輩から2年課程通信制があることを教えてもらい、説明会に参加し入学、看護師資格取得を決めました。学校や先輩方からのアドバイスがあり、放送大学と学校を両立して頑張ることができたと思っています。当時は沖縄で生活していたため、先生方が面接授業の度に沖縄に来て授業や指導をしてくださいました。20人程の同期生でしたが、面接授業の度に分からないこと、悩みなどを相談した事を思い出します。2年間ではありましたが、先生方や同期生と励まし合い無事、国家試験に合格した時の喜びを忘れることはありません。

今は熊本の消化器内科病棟で働いていますが、通信制で学習したことを活かし看護しています。2年課程通信制が閉課程されると聞いた時には驚きましたが、鹿児島中央看護専門学校2年課程（通信制）看護科で学べたこと、先生方や同期生、サポートしてくれた家族に感謝しています。ありがとうございました。



平成26年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 平成27年3月10日



平成 26 年度入学生 高 崎 眞 彰

当校を修了してから早いもので約5年の月日が経ちました。

「まだ若いんだから看護師を目指してみたら」と修了した先輩からの一言が入学を考えたきっかけでした。准看学校卒業から15年以上学習から遠のいていた私にとって入学当初は“本当に看護師になれるのか”と不安でいっぱいでした。しかし入学式の日、准看学校で同期だった仲間と再会し、その他にも同郷から来ている仲間も居るなど、自分は一人ではない皆で協力し合って頑張ろうという気持ちになりました。

単位認定試験、面接授業、臨地実習そして紙上事例演習など国家試験までの道のりは辛く大変であり幾度となく「もう限界」と諦めかけたこともありましたが。そんな時、後ろを見ればいつも頼もしい先生方や仲間たちが居てくれて、先生方の温かいご指導や仲間たちと切磋琢磨していくことで前に進むことが出来ました。そして修了、国家試験合格。あの時の感無量と達成感は現在においても私の自信となっており忘れられません。

私は現在も放送大学に在籍し大学卒業、学士取得を目指して学習を続けています。仕事では精神科病院に勤務し、学校で学んだ「科学的根拠に基づいた看護」を忘れずに患者様の援助にあたるように心がけています。学校で学んださまざまなことを看護業務に活かしながら確実に“5年前の自分とは違う”ということを実感しています。これからも放送大学での学習を通して更なるスキルアップを目指し『生涯学習』の精神で医療に取り組んでいきたいと考えています。



平成27年度 鹿児島中央看護専門学校二年課程(通信制)看護科 修了式 平成28年3月10日



平成 27 年度入学生 春 口 章 子

愛する肉親を失い、看護の道を志したのは 42 歳の時。今まで患者としての立場でしか知りえない世界に飛び込みました。准看護師としての 10 年間、何かが足りない、満足できない物足りなさを感じている時、鹿児島中央看護専門学校 2 年課程（通信制）を知り、55 歳で入学しました。2 年間、それぞれのおかれた環境の中で時間を作り、また仕事に励み、学校では共に学ぶ仲間を作り、更なる自分とこれからの将来を見据えた中で、日々学業に取り組み、実習に励んだ事は忘れられない財産となりました。この 2 年間を通し、学校で学んだことを礎にこれからも進んで行きたいと思います。

現在、臨床の場からは離れていますが、還暦を迎えまだまだやりたい事があり過ぎて、看護師として市役所の介護保険関係の仕事に携わりながら、女性消防団を率い、防災士としての活動にも取り組んでいるところです。自然災害時の対応、感染症対策等、私たち看護師の仕事は臨床だけではなくありません。この学校の修了生である事を誇りに思い、先生方に感謝しこれからも活躍できるよう、努力して参ります。



平成28年度 鹿児島中央看護専門学校 2 年課程(通信制)看護科 修了式 平成29年3月9日



平成 28 年度入学生 石 山 大 作

2年課程通信制にやる気と不安の入り混じった気持ちで入学しました。准看学校を卒業し16年ぶりの学生生活にどのように勉強を進めて行けばいいか不安でしたが、課題をクリアしていくうちに、仕事、家事、勉強のリズムができ自信がついていきました。しかし2年生になると、学校に行くたび不安になり、国家試験まであと何日と日めくりカレンダーを見るたび、焦りが募っていったのを覚えています。宮崎から通学した同じ職場の仲間と、道中、問題を出したり、分からないところを教えあったり、時には鹿児島のおいしい物を食べたりしながら、必ず一緒に国家試験に合格するぞという目標を確認し合い、つらい時や不安な時、励まし協力し合いながら乗り越えていきました。今では良い思い出です。通信課程での学習は自主性が求められ、強い気持ちを持ち、どれだけ頑張れるか、最後まで自分を信じられるかだと感じました。まさに、為せば成る！です。職場や同僚、家族の協力があり、国家試験に合格することが出来た時には仲間たちと一緒に喜んだことを覚えています。

現在、当校での学びを最大限に生かし、『個別性のある看護』で患者様の気持ちに寄り添い、『エビデンスに裏付けされた知識と技術』を実践するため日々頑張っています。最後まで丁寧に熱く教えてくださったすべての先生方に感謝致します。まだまだ普通の生活には戻れませんが、これからの人生たくさん笑い、たくさん楽しんでください。



平成29年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 平成30年3月8日



平成 29 年度入学生 松 本 哲 治

准看護師として 10 年働き、看護師になるために 2 年課程通信制に入学しました。仕事をしながら課題や事例に取り組み、休みの日も学校に通い授業を受けたりと大変な日々でした。それを乗り越えられたのは、同じ目標を持った仲間たちと出会い、支え合いながら切磋琢磨し、熱心に寄り添って指導してくれた先生方がいたからだと思っています。思い出すと大変だった 2 年間で今は楽しい思い出になっています。この出会いと自分の努力は自信につながり、財産となっています。

看護師免許を取得後、実習した病院に就職して整形外科病棟で勤務しています。学校で学んだことを活かしながら「知識・技術・態度」に磨きをかけ、患者によりよい看護が提供できるように取り組んでいきたいと思っています。学校が閉課程となると聞いて寂しく思います。学校で学んだこと、仲間や先生方との思い出は忘れません。鹿児島中央看護専門学校 2 年課程（通信制）に入学し、資格を取れたこと本当に感謝しております。



平成30年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 平成31年3月6日



平成 30 年度入学生 谷 口 寛 子

准看護師として就業して8年経過した時に、通信制の入学要件である就業経験が7年に短縮されると聞き、入学することを決意しました。学校で授業がある時は、早朝から特急列車に揺られ2時間桜島を眺めながら仲間と通い、同じホテルに宿泊し旅行気分でした。また、宮崎県内で勤務している私達の利便性を考えて、先生方が宮崎県看護協会まで来てくださり面接授業を受けることができました。とても恵まれた環境で勉強することができて良かったと思います。辛い時もあったはずなのに思い出すのは、先生や仲間と笑って過ごした日々ばかりです。できるなら、また通いたいと思うほどの最高の学校生活でした。関わって下さった全ての皆様に感謝しかありません。本当にありがとうございました。

現在、私は、念願の訪問看護師として働いています。「知識・技術の向上」だけでなく、「患者様に寄り添う看護」「笑顔とやさしい手」で信頼して頂ける看護師を目指し頑張っております。

宮崎の空の下から、皆様のご健康とご健勝をお祈りしております。



令和元年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 令和2年3月10日



平成 31 年度入学生 丸 谷 彩 子

これまでに何度も“看護職に向いていない”と思っていたのに、気づいたら 20 年近く准看護師として働いていました。“私がしていることは本当に患者のためなのか…”という壁にもぶつかりました。不足している知識を補いたい、いつか訪問看護に携わりたいと思って学校に入学しました。大好きな祖父母を入学前に亡くし、続けて身近な人を亡くしたことで、死の迎え方を考えるようになりました。そして、その周りに居る人の思いや自分の思いなどたくさんの感情で苦しく滅入ることもありましたが、学校で学びを深めていく事で自分が体験したことを振り返る機会になりました。また、同期生のほとんどが家事・育児と仕事を両立しており、背景は様々でしたが、同じ目標に辿り着こうとする仲間と過ごしていると、ネガティブな私も前を向く事ができました。授業中に興味のある事や気になることを書きとめたメモを今読み直してみると、自分はこれから地域でコミュニティを繋ぐ場を作りたい、個々のQOLを向上させ大切な人に生き様を見届けてもらえる環境を作りたいと考えるようになりました。

現在私は整形外科で勤務しており、リーダー業務を学んでいます。やりたいことの構想はまだ具体的ではなく壁にぶつかりそうですが、柔軟に多様に活動できる看護師を目指します。学生生活は大変なことだけではなく貴重な時間でした。先生方やサポートしてくれた周りの人たちに感謝しています。



令和2年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 令和3年3月10日



令和2年度入学生 中村 朝香

コロナ禍で入学した私たちは、先生方や同級生とマスク越しで挨拶を交わし、これから始まる学校生活に不安と緊張を抱いたことを今でも鮮明に覚えています。久しぶりの学校生活に不安や緊張感がありましたが、看護師になるという目標のスタートラインに立てたことへの喜びや誇らしさも同時に感じました。面接授業では、先生方の深い看護観に触れ、その思いを継承していく使命感を感じるとともに、理想の看護師像を描く道しるべとなりました。見学実習では、谷山病院での精神看護学実習が印象に残っています。感情表出が乏しい患者に寄り添う看護師の姿に、心を揺さぶられました。

全国的にオミクロン株が猛威を振るう中、私達174名全員が看護師国家試験を受験することが出来ました。これまで支えてくれた家族や友人、職場の協力なくしては辿り着けませんでした。また“絶対に合格しようね”と互いに励まし合った同級生の存在は、同じ目標を持つ戦友として大きな力をくれました。校長先生の応援メッセージや『大丈夫！自分を信じて』と最後の最後まで声をかけ続けて下さった先生方の言葉は、最強の“心のお守り”になりました。

私たちの修了を最後に、母校は閉課程を迎えます。これまでたくさんの先輩方が同じ学び舎を巣立ち、保健・医療・福祉のあらゆる分野で活躍されていることと思います。『奨学と慈愛』の教育理念を礎に、鹿児島中央看護専門学校二年課程（通信制）看護科の最後の修了生であることに誇りを持ち、諸先輩方と共に地域社会に貢献できる看護師を目指していく所存です。

結びに、校長先生をはじめ、諸先生方や職員の皆様のご健康とご多幸を心より祈念いたします。



令和3年度 鹿児島中央看護専門学校 二年課程(通信制)看護科 修了式 令和4年3月9日

学校長賞受賞者一覧

平成 19 年度修了生	平成 20 年度修了生	平成 21 年度修了生	平成 22 年度修了生
東 畑 浩 幸(総代) 高 木 いずみ(代表)	上 村 富 子 中 馬 富 子 水 元 弘 美 森 田 まり子 柳 田 珠 実	西 山 恵 上 原 忠 次 竹之内 ひとみ 中 崎 千佐代 野 口 由 美 柴 山 和 代 織 地 さつき 福 留 秀 人	東 めぐみ 高 田 智 弘 牛 渡 高 江 森 本 美 子 佐 藤 鈴 乃 小 林 亜紀子 日 高 おき子 永 田 千代子
平成 23 年度修了生	平成 24 年度修了生	平成 25 年度修了生	平成 26 年度修了生
坂 本 真 代 杉 山 美 奈 照 屋 清 子 得 美由紀 富 永 直 輝 満 留 裕 子 森 本 美智子 柳 田 るり子	岩 元 美 穂 浦 崎 直 次 合 原 修 椎 屋 めぐみ 横 川 恭 子	清 水 美 鈴 成 松 由美香 早 渕 美由紀 日 高 紀 子 宮 城 末 子	門 倉 誠 坂 元 み き 淳 仁 司 福 迫 直 美 本 田 紋 子
平成 27 年度修了生	平成 28 年度修了生	平成 29 年度修了生	平成 30 年度修了生
祝 迫 杏 美 木 場 やよい 高 崎 眞 彰 田 畑 智 江 苗 村 美 保	桑 原 瑞 恵 郡 司 絵 里 高 山 直 美 寺 床 久美子 西中村 聡 美	川久保 義 教 徳 持 曉 子 羽 地 綾 子 真 井 千 鶴 山 口 和 代 吉 田 幸 恵	赤 塚 智 子 高 味 吉 朋 長 倉 佳 子 中 武 眞理子 福 石 智 子 吉 原 理 香
令和元(平成 31)年度修了生	令和 2 年度修了生	令和 3 年度修了生	
上 新 正 人 川 越 ミユキ 倉 本 祐 香 谷 口 寛 子 松 野 美代子 松 山 久美子	飯 尾 千 恵 濱 崎 加 奈 福 島 米 子 堀 尾 由美子 丸 谷 彩 子 山 田 眞理子	中 村 朝 香 大 村 絵 美 川 崎 小 春 諏 訪 智 田 畑 彰 大 野 畑 絵理佳	

学校概要と教育課程

施設の概要

名称・所在地：鹿児島中央看護専門学校 2 年課程（通信制）看護科
 鹿児島市泉町 1 番 1 5 号（〒 892-0822） Tel 099-226-1201 Fax 099-226-1228
 位置：鹿児島市電いづろ下車徒歩 3 分、バス金生町下車徒歩 5 分
 定員：150 名
 沿革

昭和38年 4 月	財団法人慈愛会谷山准看護学校として発足
昭和40年10月	副田凱馬作詞、武田恵喜秀作曲による校歌の制定
昭和43年 4 月	鹿児島県立鹿児島西高等学校と技能連携を結ぶ 鹿児島県立鹿児島西高等学校衛生看護科昼間定時制
昭和51年 4 月	准看護師の進学の道として鹿児島中央高等看護学校を開設 初代校長 今村源一郎就任
昭和52年 4 月	学校教育法の一部改正により専修学校の許可を受け鹿児島中央看護専門学校に名称を改める ・旧谷山准看護学校と旧鹿児島中央高等看護学校を合併 ・看護高等課程准看護科、看護専門課程看護科を置く
昭和59年 3 月	初代校長 今村源一郎退任
昭和59年 4 月	第二代校長 今村一英就任
平成元年 3 月	看護高等課程准看護科を閉課程とし、鹿児島県立鹿児島西高等学校との技能連携を解除する
平成 2 年 4 月	看護専門課程の定員を30名から50名に増員する
平成 7 年 3 月	平成 7 年 3 月の卒業生から文部科学大臣告示（平成 6 年 6 月21日文部省告示第84号）により 専修学校修了者として専門士（医療専門課程）と称することを認められる
平成 8 年 3 月	第二代校長 今村一英退任
平成 8 年 4 月	第三代校長 今村節子就任
平成11年 4 月	看護専門課程の定員を50名から40名に減員する
平成14年12月	3 年課程併設に伴う学則（課程及び入所定員）、校舎の各室の用途及び面積並びに実習施設 の変更申請について厚生労働大臣の承認を受ける
平成15年 3 月	第三代校長 今村節子退任
平成15年 4 月	鹿児島中央看護専門学校 2 年課程に 3 年課程を併設 第四代校長 今村利朗就任 ・ 2 年課程看護科 定員20名 小原町10番 1 号 ・ 3 年課程看護科 定員20名 泉町12番 7 号
平成16年 4 月	3 年課程看護科の定員20名を40名に増員する
平成17年 3 月	2 年課程看護科は第28期生23名の卒業をもって 2 年課程看護科は閉課程 2 年課程看護科の卒業生総数895名
平成17年12月	2 年課程(通信制)看護科併設準備のため、第 2 校舎を増設する 泉町 1 番15号 学則の変更（2 年課程通信制の追加）、校舎の各室の用途及び面積の変更、実習施設の変更 申請について厚生労働大臣の承認を受ける
平成18年 4 月	2 年課程（通信制）看護科併設 定員200名
平成21年 5 月	第四代校長 今村利朗退任
平成21年 6 月	第五代校長 富安恵子就任
平成22年 4 月	カリキュラム改正 統合分野が追加され総単位62単位→65単位に変更
平成23年 4 月	財団法人慈愛会から公益財団法人慈愛会へ移行
平成27年 3 月	第五代校長 富安恵子退任
平成27年 4 月	第六代校長 今村英仁就任
平成30年 4 月	2 年課程(通信制)看護科の入学要件(就業経験10年以上→7年以上)の変更、定員150名に減員 カリキュラム改正 対面による授業日数10日間追加、専門実践教育訓練給付制度の指定講座認定
令和 2 年 4 月	募集停止
令和 4 年 3 月	2 年課程（通信制）看護科 修了生総数2,282名をもって閉課程

1. 教育理念

『奨学と慈愛』

本校の創立理念である『奨学』と『慈愛』のもと、親が子を慈しみ家族を愛するように、対象を広く、深く理解し、生命の尊厳、人格を尊重する豊かな人間性を有した看護師を育成する。

また、変動する社会に対応し、安全な医療を提供する看護専門職者として、必要とされるあらゆる場で看護を実践するために、確実な知識・技術・態度を身につけられるよう支援し、看護者としての倫理観と責任感を育成する。

更に、看護を目指す者の志を支援し、学習者が、その能力と努力によって、自分の力で看護を創造、発展させていけるように、自主的に学習していく環境を整え、体験や年代の違いを超えて主体的に学びあう意欲を醸成する。

2. 教育目的

看護師として必要な知識及び技術を教授するとともに、学生の主体的な学びと意欲によって、十分な判断力と問題解決能力及び創造性を体现できる、豊かな人間性を兼ね備えた看護専門職者として、社会に貢献しうる有能な人材を育成する。

3. 教育目標

- 1) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解できる能力を養う。
- 2) 人々の健康と生活を自然・社会・文化的環境とのダイナミックな相互作用及び連続性のあるものとして理解できる能力を養う。
- 3) 人々の健康上の課題に対応するために、確実な知識・技術・態度を身につけ、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 4) 安全な医療を提供する専門職者として、自覚と責任を持ち、倫理に基づいた行動ができる能力を養う。
- 5) 豊かな感性を培い、人間と社会を幅広く理解し、他者との良好な人間関係を築くための基礎的能力を養う。
- 6) 保健・医療・福祉の動向と制度を総合的に理解し、人々が社会資源を適切に活用できるように、調整する能力を養う。
- 7) 保健・医療・福祉における他職種の役割とチームワークの重要性を認識し、看護の専門性と自立性を発揮し、チームメンバーとして協働できる能力を養う。
- 8) 看護実践をとおして、看護の悦びや厳しさを体験し、質の高い看護を探究し続ける姿勢を養う。

【教育課程の考え方】

平成 16 年に 2 年課程通信制は、准看護師から看護師への移行促進を目的として准看護師として就業経験年数 10 年以上の者を対象にした課程として設置され、本校は平成 18 年に 3 年課程に併設した。厚生労働省は、2 年課程通信制設置後約 10 年を経過し、本校を含め全国的に入学定員の充足率の低下や学校養成所数の減少が生じていることやこれからの地域医療体制の充実に向けて看護師養成の一環として、平成 30 年から通信制看護師養成所の入学基準について就業経験年数を 10 年から 7 年以上に短縮することとした。この入学要件見直しにより、本校の入学要件も就業経験 10 年以上から 7 年以上の准看護師が対象となった。

本校に入学する 7 年以上の就業経験をもつ准看護師は、経験や体得されていない技術があることや対象者（患者や利用者）に技術を提供する場合、手技は行えるが技術に必要な根拠や起こりうるリスクとその対処法などが習得されていないものがある。技術のほかにも対象を捉える力や対象への関わり方が修業年限の短縮により低くなることが考えられる。そこで本校では根拠に基づいた的確な看護判断や論理的思考に基づいた看護を実践するための問題解決能力を強化するために、各専門科目の臨地実習紙上事例演習はこれまでの印刷教材による授業だけであったが、「面接授業（事例授業）」を 1 日追加した。

また、対象を理解するためのフィジカルアセスメントを科学的根拠に基づき安全・安楽に配慮した技術を習得する内容について、専門分野Ⅰの臨地実習に「面接授業（フィジカル授業）」を 1 日追加した。追加した面接授業により講義や演習を充実させ、技術習得の強化を図った。さらに、健康教育における効果的なコミュニケーション技術を学ぶための内容については各専門科目の中で印刷教材による授業、臨地実習をととして学ぶこととした。

今回の改正により面接授業の追加日数は、専門分野Ⅰ「面接授業（フィジカル授業）」1 日、各専門科目の「面接授業（事例授業）」8 日で合計 9 日とした。この他に現在も行っている専門分野Ⅰ「看護過程の基礎」2 日は継続する。よって、面接授業日数は 11 日となった。登校日数の増加による働きながら学ぶ学生にとって負担は増加するが教育内容を充実させることで、変動する社会に対応し、安全な医療を提供する看護専門職者として、あらゆる場で看護を実践するために確実な知識・技術・態度を身につけられる内容とした。

入学後には准看護師としての今までの就業形態、就業場所、就業日数・時間について学生の準備状況を確認した上で看護技術実践能力を把握し、身につけるべき看護技術を習得できるよう、個別の状況を考慮した教育内容とする。

本校では近年入学者が減少し、入学定員の充足率が低下してきたため、入学定員を 1 学年 200 名から 150 名に減らすこととした。また、専任教員については在学学生 300 人以内の場合は 8 人に対して専任教員 9 人として教育の充実を図っている。

以上、本校では学生が看護の対象とよい人間関係を築き、専門職者として最新の知見を活用して看護を実践するために生涯にわたり学習を継続するとともに看護を探究する姿勢を養う内容とした。

【 教 育 内 容 】

1) 基礎分野 7単位 315時間

科学的思考の基盤

人間と生活・社会の理解

〔目的〕 専門基礎分野及び専門分野を学ぶための資質を培い、人間とその生活を理解し、個々の人間性を高める。

〔目標〕

- ・ 人間への理解を深め、生命を尊び、人格を尊重する豊かな人間性を養う。
- ・ 科学的な根拠に基づいて思考するための基礎を養う。
- ・ 国際化に対応しうる能力を養う。

2) 専門基礎分野 14単位 330時間

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

〔目的〕 専門基礎分野及び専門分野を学ぶための資質を培い、人間とその生活を理解し、人体の構造と機能を系統的に学び、看護を実践する際の観察、判断の科学的根拠となる健康・疾患となる健康・疾患に関する基礎的知識を習得する。また、保健・医療・福祉の連携と活用方法を学び、人間理解と看護実践の基礎的能力を養う。

〔目標〕

- ・ 人体を系統立てて理解し、健康・疾病に関する観察力や判断能力を養う。
- ・ 健康状態から疾病が成立するまでの過程と回復の促進について学ぶ。
- ・ 病原微生物の特徴と感染防御に関わる基礎的知識を身につける。
- ・ 人々の健康を保持・増進するために保健・医療・福祉の現状を知り、人々が社会資源を適切に活用できるように調整する能力を養う。

3) 専門分野Ⅰ 8単位 285時間

基礎看護学

〔目的〕 看護の概念を学び、看護の役割を理解する。人間のライフサイクルにおける健康の意義、保健・医療・福祉における看護師の役割を理解する。看護の基礎となる知識・技術・態度を養う。

〔目標〕

- ・ 看護の概念及び看護の役割を理解する。
- ・ 人間のライフサイクルにおける健康と健康の概念について理解する。
- ・ 看護の対象としての人間を理解する。
- ・ 看護実践の現場で看護専門職として活動する為の基礎ならびに考え方を拡大することができる。
- ・ 看護における倫理について理解する。
- ・ 今後の看護の課題と方向性を考えることができる。

4) 専門分野Ⅱ 25単位 900時間

成人看護学

〔目的〕 多様な社会的役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、成人期の健康問題を判断する能力と、適切な看護を実践する能力を養う。

〔目標〕

- ・ 成人期にある対象の生活と健康問題について学び、健康を保持・増進するための看護の役割を理解する。
- ・ 成人の健康レベルに対応した看護を理解する。

老年看護学

〔目的〕 老年期にある対象の特徴と看護の目的を理解し、加齢による日常生活の変化および健康障害に応じた看護を生活機能の観点から分析し実践できる能力を養う。

〔目標〕

- ・ 老年期にある対象の特徴と老年看護の目的を理解する。
- ・ 高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向とチーム医療のなかでの看護師の役割を理解する。
- ・ 高齢者の尊厳と権利擁護について理解する。

小児看護学

〔目的〕 成長発達の途上にある子どもの特徴を理解した上で、健康問題・障害が子どもとその家族に及ぼす影響を理解し、各発達段階およびあらゆる健康レベルにある子どもと家族の看護を総合的に実践できる能力を養う。

〔目標〕

- ・小児看護の対象である子どもと家族の概念をとらえ、小児看護の特徴を理解する。
- ・子どもの権利と最善の利益を守る看護の役割について理解する。
- ・子どもの成長・発達の特徴をとらえ、発達段階に応じた看護について理解する。
- ・子どもと家族を取り巻く社会の動向と制度について理解する。

母性看護学

〔目的〕 母性看護の対象が女性とその家族、生活する地域社会をふまえ、母性の特性を理解し、女性の一生を通じた母性の健康の保持・増進、疾病の予防や次世代の健全育成を目指す看護が実践できる能力を養う。

〔目標〕

- ・母性看護の概念や母性の特徴を学び、人間にとっての性の意義や現代社会における母性の健康をめぐる課題について理解する。
- ・母性各期の女性の健康維持・増進、疾病の予防を行う看護について理解する。

精神看護学

〔目的〕 ライフサイクル各期における精神の健康について理解し、精神の健康の保持増進と精神障害の予防のための看護を実践できる能力を養う。精神疾患をもつ人、地域で生活する精神障害者への援助について適切な看護を実践できる能力を養う。

〔目標〕

- ・精神看護の基本的な考え方と精神看護の目的及び位置づけを理解する。
- ・ライフサイクル各期における精神（心）の発達・健康とその考え方を理解する。
- ・現代社会における精神保健上の問題を理解し、精神の危機回避のためのストレスマネジメントについて理解する。

5) 統合分野 11単位 390時間

在宅看護論

〔目的〕 疾病・障害を持ちながら地域で生活している在宅療養者とその家族を理解し、在宅看護のあり方について学ぶ。社会資源を活用し、他職種と連携・協働しながら看護師の役割を理解し、マネジメントする能力を養う。生活者としての人間を深く捉え、人間を尊重した看護の倫理観を深める。

〔目標〕

- ・在宅看護の概念と位置づけを理解する。
- ・在宅看護の対象者の特性を理解する。
- ・在宅看護の目的、役割、活動の場を理解する。
- ・チーム医療の中で他職種と連携・協働し、看護師としてのメンバーシップ・リーダーシップについて理解する。

看護の統合と実践

〔目的〕 医療安全は安全な看護を提供するために必要な医療安全の知識を身につけ、事故の発生防止、安全を守る倫理的行動を学ぶ。看護管理は組織の中の看護師の役割を理解し、リーダーシップ及びマネジメントできる能力を養う。また、看護師として倫理原則や倫理的責任を理解し、倫理的課題に直面した時考え方を学ぶ。災害における看護の特性と役割を学び、災害直後から支援できる看護の基礎的知識について理解する。また、国際社会における保健医療福祉や看護の実情を知り、国際協力について考えを深める。

〔目標〕

- ・安全な看護を提供するために必要な医療安全の考え方、事故発生防止・再発防止対策を理解する。
- ・安全を守る倫理的行動・判断を理解する。
- ・看護管理とその対象、そのプロセスを理解する。
- ・医療チームにおける協働と、看護師のリーダーシップを理解する。
- ・医療専門職の倫理的取り組みを理解し、看護職としての倫理観を養う。
- ・看護実践における倫理的問題への取り組みについて理解し、倫理的課題に直面した時の考察ができる。
- ・災害および災害看護に関する基礎的知識を理解し、災害サイクルや活動の場に応じた看護の役割を理解する。
- ・国際看護・多文化看護・国際協力について理解する。

6) 臨地実習

2年課程通信制の臨地実習は、学生が准看護師として7年以上の就業経験があることから実践能力はついていると捉え、紙上事例演習を通しての看護展開のレポート作成および病院見学実習、その後の面接授業で知識の統合を図る学習方法で組み立てられている。

〔目的〕 学習した理論及び技術が実際の看護場面にどのように活用されているか学び、今まで経験した体験的知識を、論理的・科学的根拠に基づいた看護が展開できる。

〔目標〕

- ・学習した理論・知識・技術を活用し科学的根拠に基づいて看護が展開できる基礎的能力を養う。
- ・看護過程を活用した看護実践を見学することにより、自己の看護を振り返り、看護の機能・役割を理解し、自らの看護実践に関する考察を深めることができる。
- ・看護倫理について、自らの実践活動と結びつけて考えることができ、倫理的行動がとれる。
- ・保健・医療・福祉チームの一員として看護師の役割を理解し、多職種と協働できる能力を身につける。

【紙上事例演習】

〔目的〕 既有知識や准看護師としての7年以上の就業経験に基づき、紙上事例演習の看護過程を展開することで、論理的思考の学習と問題解決能力を養い、科学的根拠に基づいた看護が展開できる能力を養う。

〔目標〕

- ・紙上事例の情報より情報を整理することができる。
- ・整理された情報を分析し看護の視点により、看護問題を明らかにできる。
- ・看護問題に対して、看護目標を立てることができる。
- ・看護目標に向かって、看護計画を立案できる。
- ・看護過程に沿って看護を展開することにより判断力、応用力、問題解決能力を身につけることができる。

【病院見学実習】

〔目的〕 看護実践の見学から学生自身の今までの就業経験を踏まえて自己の看護を振り返り、援助方法について科学的根拠づけができる。

〔目標〕

- ・各科目の専門性・特殊性を学ぶ。
- ・印刷教材による学習及び放送授業、紙上事例演習などの学習と、見学する看護場面を結びつけて考察し、科学的根拠に基づいた看護実践活動について理解する。
- ・病院見学実習より看護の機能・役割を理解し、自己の今までの看護を振り返り、看護能力を高めることができる。
- ・印刷教材による学習及び放送授業、紙上事例演習で学んだ知識に基づいて、主体的な態度で病院見学実習に臨むことができる。

【面接授業】

〔目的〕 面接授業では、専任教員と対面し直接指導を受けることにより、准看護師としての7年以上の就業経験、印刷教材による学習及び放送授業で学んだ知識と紙上事例演習、病院見学実習で学んだ実践能力の統合を図る。

〔目標〕

- ・紙上事例演習を深めることで問題解決能力及び思考力、応用力を高めることができる。
- ・病院見学実習の場面を振り返ることで、対象の理解、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。
- ・チームの一員としての看護師の役割、多職種との協働、専門職者として看護倫理に基づいた態度を身につける。
- ・面接授業を受けることで、印刷教材による学習及び放送授業、紙上事例演習、病院見学実習での知識を統合し、物事の関連性を意識的に思考できる。
- ・グループ討議の中で自分の考えをまとめ発言でき、学生間の意見を共有し多様な価値観や考え方を身につけることができる。
- ・自己の看護を振り返り、看護観を深めることができる。

教 育 内 容		授 業 科 目	授 業 形 態	単位数		時間数	
基 礎 分 野	科学的思考の基盤	生物学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90	
		物理学		2			
		論理学		2			
	人間と人間生活の理解	心理学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90	
		哲学		2			
		倫理学		2			
		宗教学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90	
		社会学		2			
		経済学		2			
		教育学		2			
外国語		放 送 授 業	1	1 単位必修	45		
小 計			7		315		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	解剖生理学	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
		栄養学（生化学）	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
	疾病の成り立ちと回復の促進	薬理学（臨床薬理）	印刷教材による授業	1	1 単位必修	30	
		病理学	面 接 授 業	1	1 単位必修	15	
		疾病論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
		微生物学	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
	社会保障制度と生活者の健康	公衆衛生	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
		社会福祉	放 送 授 業	1	1 単位必修	30	
		関係法規	放 送 授 業	1	1 単位必修	30	
	小 計			14		330	
専 門 分 野	基礎看護学	基礎看護学概論Ⅰ	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
		基礎看護学概論Ⅱ	印刷教材による授業	1	1 単位必修	30	
		看護過程の基礎	面 接 授 業	1	1 単位必修	15	
		基礎看護学方法論Ⅰ	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45	
		基礎看護学方法論Ⅱ	印刷教材による授業	2	2 単位必修	75	
	在宅看護論	在宅看護論概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45	
		在宅看護論方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
	成人看護学	成人看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45	
		成人看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
	老年看護学	老年看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45	
		老年看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
	小児看護学	小児看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45	
		小児看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
	母性看護学	母性看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	30	
		母性看護学方法論	印刷教材による授業	2	2 単位必修	60	
	精神看護学	精神看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45	
		精神看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45	
	小 計			25		750	
	臨 地 実 習	基礎看護学 在宅看護論 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学	基礎看護学実習	紙上事例演習・病院見 学実習及び面接授業	3	3 単位必修	135
			在宅看護論実習		2	2 単位必修	90
成人看護学実習			3		3 単位必修	135	
老年看護学実習			2		2 単位必修	90	
小児看護学実習			2		2 単位必修	90	
母性看護学実習			2		2 単位必修	90	
精神看護学実習			2		2 単位必修	90	
小 計			16		720		
総 計			62		2115		

	教 育 内 容	授 業 科 目	授 業 形 態	単位数		時間数
基礎分野	科学的思考の基盤	生物学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90
		物理学		2		
		論理学		2		
		情報科学		2		
	人間と生活・社会の理解	心理学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90
		人間関係論		2		
		哲学		2		
		倫理学		2		
		宗教学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90
		社会学		2		
		経済学		2		
		教育学		2		
	外国語	放送授業若しくは面接授業	1	1 単位必修	45	
	小 計			7		315
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		栄養学（生化学）	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	疾病の成り立ちと回復の促進	薬理学	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		病理学	面 接 授 業	1	1 単位必修	15
		疾病論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		微生物学	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	健康支援と社会保障制度	公衆衛生	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		社会福祉	面 接 授 業	1	1 単位必修	15
		関係法規	放 送 授 業	1	1 単位必修	30
	小 計			14		330
専門分野Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学概論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		看護過程の基礎	面 接 授 業	1	1 単位必修	15
		基礎看護学方法論Ⅰ	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		基礎看護学方法論Ⅱ	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		臨床看護総論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
	臨地実習	基礎看護学実習	3事例程度の紙上事例演習 病院見学実習及び面接授業	2	2 単位必修	90
	小 計			8		285
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		成人看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	老年看護学	老年看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		老年看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	小児看護学	小児看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		小児看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	母性看護学	母性看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		母性看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	精神看護学	精神看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		精神看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	臨地実習	成人看護学実習	各専門分野ごとに3事例程度の紙上事例演習、 病院見学実習及び面接授業	2	2 単位必修	90
		老年看護学実習		2	2 単位必修	90
		小児看護学実習		2	2 単位必修	90
		母性看護学実習		2	2 単位必修	90
		精神看護学実習		2	2 単位必修	90
	小 計			25		900
統合分野	在宅看護論	在宅看護論概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		在宅看護論方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	看護の統合と実践	医療安全	印刷教材による授業	2	2 単位必修	60
		看護管理	印刷教材による授業	1	1 単位必修	30
		災害看護	印刷教材による授業	1	1 単位必修	30
	臨地実習	在宅看護論実習	3事例程度の紙上事例演習	2	2 単位必修	90
		看護の統合と実践実習	病院見学実習及び面接授業	2	2 単位必修	90
	小 計			11		390
総 計			65		2220	

	教 育 内 容	授 業 科 目	授 業 形 態	単位数		時間数
基礎分野	科学的思考の基盤	生物学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90
		物理学		2		
		論理学		2		
		情報科学		2		
	人間と生活・社会の理解	心理学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90
		人間関係論		2		
		哲学		2		
		倫理学		2		
		宗教学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90
		社会学		2		
		経済学		2		
		教育学		2		
	外国語		放送授業若しくは面接授業	1	1 単位必修	45
	小 計			7		315
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		栄養学（生化学）	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	疾病の成り立ちと回復の促進	薬理学	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		病理学	面 接 授 業	1	1 単位必修	15
		疾病論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		微生物学	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	健康支援と社会保障制度	公衆衛生	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		社会福祉	面 接 授 業	1	1 単位必修	15
		関係法規	放 送 授 業	1	1 単位必修	30
	小 計			14		330
専門分野Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学概論	放 送 授 業	1	1 単位必修	30
		看護過程の基礎	面 接 授 業	1	1 単位必修	15
		基礎看護学方法論Ⅰ	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		基礎看護学方法論Ⅱ	印刷教材による授業	2	2 単位必修	60
		臨床看護総論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
	臨地実習	基礎看護学実習	3 事例程度の紙上事例演習 病院見学実習及び面接授業	2	2 単位必修	90
	小 計			8		285
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		成人看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	老年看護学	老年看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		老年看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	小児看護学	小児看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		小児看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	母性看護学	母性看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		母性看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	精神看護学	精神看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		精神看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	臨地実習	成人看護学実習	各専門分野ごとに 3 事例程度の紙上事例演習、 病院見学実習及び面接授業	2	2 単位必修	90
		老年看護学実習		2	2 単位必修	90
		小児看護学実習		2	2 単位必修	90
		母性看護学実習		2	2 単位必修	90
		精神看護学実習		2	2 単位必修	90
	小 計			25		900
統合分野	在宅看護論	在宅看護論概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		在宅看護論方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	看護の統合と実践	医療安全	印刷教材による授業	2	2 単位必修	60
		看護管理	印刷教材による授業	1	1 単位必修	30
		災害看護	放 送 授 業	1	1 単位必修	30
		在宅看護論実習	3 事例程度の紙上事例演習	2	2 単位必修	90
	臨地実習	看護の統合と実践実習	病院見学実習及び面接授業	2	2 単位必修	90
	小 計			11		390
総 計				65		2220

分野	教育内容	授業科目	授業形態	面接授業 日数	病院見学 実習日数	単位数		時間数
専門基礎分野	疾病の成り立ち と回復の促進	薬 理 学	印刷教材			1	1 単位必修	45
		病 理 学	面接授業	2		1	1 単位必修	15
	健康支援と社会 保障制度	社 会 福 祉	面接授業	2		1	1 単位必修	15
専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護過程の基礎	面接授業	2		1	1 単位必修	15
		基礎看護学方法論Ⅰ	印刷教材			1	1 単位必修	45
		基礎看護学方法論Ⅱ	印刷教材			2	2 単位必修	60
		臨床看護総論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	臨地実習	基礎看護学実習	紙上事例演習			2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	老年看護学	老年看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	小児看護学	小児看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	母性看護学	母性看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	精神看護学	精神看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	臨地実習	成人看護学実習	紙上事例演習			2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		老年看護学実習	紙上事例演習			2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		小児看護学実習	紙上事例演習			2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		母性看護学実習	紙上事例演習			2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		精神看護学実習	紙上事例演習			2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
統合分野	在宅看護論	在宅看護論概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	看護の統合と実 践	医 療 安 全	印刷教材			2	2 単位必修	60
		看 護 管 理	印刷教材			1	1 単位必修	30
	臨地実習	在宅看護論実習	紙上事例演習			2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		看護の統合と実践 実習	紙上事例演習			2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
専門基礎科目の面接授業日数				4	0	33	1320	
専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野の面接授業日数				26	16			
小 計				30	16			

	教 育 内 容	授 業 科 目	授 業 形 態	単位数		時間数
基 礎 分 野	科学的思考の基盤	生物学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90
		物理学		2		
		論理学		2		
		情報科学		2		
	人間と生活・社会の理解	心理学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90
		人間関係論		2		
		哲学		2		
		倫理学		2		
		宗教学	放 送 授 業	2	2 単位選択必修	90
		社会学		2		
		経済学		2		
		教育学		2		
	外国語	放送授業若しくは面接授業	1	1 単位必修	45	
小 計			7		315	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	解剖生理学	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		栄養学（生化学）	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	疾病の成り立ちと回復の促進	薬理学	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		病理学	面 接 授 業	1	1 単位必修	15
		疾病論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		微生物学	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	健康支援と社会保障制度	公衆衛生	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
		社会福祉	面 接 授 業	1	1 単位必修	15
		関係法規	放 送 授 業	1	1 単位必修	30
	小 計			14		330
	専 門 分 野 Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学概論	放 送 授 業	1	1 単位必修
看護過程の基礎			面 接 授 業	1	1 単位必修	15
基礎看護学方法論Ⅰ			印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
基礎看護学方法論Ⅱ			印刷教材による授業	2	2 単位必修	60
臨床看護総論			印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
臨地実習		基礎看護学実習	3 事例程度の紙上事例演習 病院見学実習及び面接授業	2	2 単位必修	90
小 計			8		285	
専 門 分 野 Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		成人看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	老年看護学	老年看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		老年看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	小児看護学	小児看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		小児看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	母性看護学	母性看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		母性看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	精神看護学	精神看護学概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		精神看護学方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	臨地実習	成人看護学実習	各専門分野ごとに3事 例程度の紙上事例演 習、病院見学実習及び 面接授業	2	2 単位必修	90
		老年看護学実習		2	2 単位必修	90
		小児看護学実習		2	2 単位必修	90
		母性看護学実習		2	2 単位必修	90
		精神看護学実習		2	2 単位必修	90
	小 計			25		900
統 合 分 野	在宅看護論	在宅看護論概論	印刷教材による授業	1	1 単位必修	45
		在宅看護論方法論	放 送 授 業	2	2 単位必修	45
	看護の統合と実践	医療安全	印刷教材による授業	2	2 単位必修	60
		看護管理	印刷教材による授業	1	1 単位必修	30
		災害看護	放 送 授 業	1	1 単位必修	30
		臨地実習	在宅看護論実習	3 事例程度の紙上事例演習	2	2 単位必修
	看護の統合と実践実習		病院見学実習及び面接授業	2	2 単位必修	90
	小 計			11		390
総 計			65		2220	

分野	教育内容	授業科目	授業形態	面接授業 日数	病院見学 実習日数	単位数		時間数
専門基礎分野	疾病の成り立ち と回復の促進	薬 理 学	印刷教材			1	1 単位必修	45
		病 理 学	面接授業	2		1	1 単位必修	15
	健康支援と社会 保障制度	社 会 福 祉	面接授業	2		1	1 単位必修	15
専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護過程の基礎	面接授業	2		1	1 単位必修	15
		基礎看護学方法論Ⅰ	印刷教材			1	1 単位必修	45
		基礎看護学方法論Ⅱ	印刷教材			2	2 単位必修	60
		臨床看護総論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	臨地実習	基礎看護学実習	紙上事例演習	1		2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	4				
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	老年看護学	老年看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	小児看護学	小児看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	母性看護学	母性看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	精神看護学	精神看護学概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	臨地実習	成人看護学実習	紙上事例演習	1		2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		老年看護学実習	紙上事例演習	1		2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		小児看護学実習	紙上事例演習	1		2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		母性看護学実習	紙上事例演習	1		2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		精神看護学実習	紙上事例演習	1		2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
統合分野	在宅看護論	在宅看護論概論	印刷教材			1	1 単位必修	45
	看護の統合と実 践	医 療 安 全	印刷教材			2	2 単位必修	60
		看 護 管 理	印刷教材			1	1 単位必修	30
	臨地実習	在宅看護論実習	紙上事例演習	1		2	2 単位必修	90
			病院見学実習		2			
			面接授業	3				
		看護の統合と実践 実習	紙上事例演習	1		2	2 単位必修	90
病院見学実習				2				
面接授業			3					
専門基礎科目の面接授業日数				4	0	33	1320	
専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野の面接授業日数				35	16			
小 計				39	16			

資料

【添削の変遷】

年	内 容
H18 年	● 3 年課程に併設、准看護師就業経験 10 年以上の入学要件。 ・ 学生一人あたり、課題レポート数：12 レポート、紙上事例演習数：21 事例
H22 年	● カリキュラム改正：総単位 62 単位から 65 単位へ増、統合分野創設。 ・ 「臨床看護総論」「医療安全」「看護管理」「災害看護」を新設、課題レポート数：5 レポート増。 ・ 「基礎看護学方法論Ⅱ」を 1 単位としたため課題レポート数：1 レポート減。 ・ 「母性看護学方法論」「基礎看護学概論Ⅱ」を放送大学履修科目としたため課題レポート数：3 レポート減。 ・ 「看護の統合と実践実習」が開始となった。紙上事例演習：2 事例増。 ・ 学生一人あたり、課題レポート数：13 レポート（1 増）、紙上事例演習数：23 事例（2 増）
H26 年	・ 「基礎看護学方法論Ⅱ」を 2 単位としたため課題レポート数：1 レポート増。 ・ 「災害看護」を放送大学履修科目に変更したため、課題レポート数：1 レポート減。 ・ 学生一人あたり、課題レポート数：13 レポート、紙上事例演習数：23 事例と変更なし。
H30 年	● カリキュラム改正：入学要件の見直しにより准看護師就業経験 7 年以上に短縮、面接授業 10 日間の増加。 ・ 紙上事例演習 3 事例目の形式と提出時期の変更 ・ 学生一人あたり、課題レポート数：13 レポート、紙上事例演習数：23 事例と変更なし。
R4 年	・ 3 月 31 日閉課程。

（表）年別課題レポート数

専門分野	教育内容	科目	H18 ～	H22 ～	H26 ～	H30 ～R2
Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学概論Ⅱ	1			
		基礎看護学方法論Ⅰ	1	1	1	1
		基礎看護学方法論Ⅱ	2	1	2	2
		臨床看護総論		1	1	1
Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	1	1	1	1
	老年看護学	老年看護学概論	1	1	1	1
	小児看護学	小児看護学概論	1	1	1	1
	母性看護学	母性看護学概論	1	1	1	1
		母性看護学方法論	2			
	精神看護学	精神看護学概論	1	1	1	1
統合	在宅看護論	在宅看護論概論	1	1	1	1
	看護の統合 と実践	医 療 安 全		2	2	2
		看 護 管 理		1	1	1
		災 害 看 護		1		
小 計			12	13	13	13

（表）紙上事例演習事例数

分野	教育内容	科目	H18 ～	H22 ～	H26 ～	H30 ～R3
専門 分野 Ⅰ	基礎看護学	看護過程の基礎	1	1	1	1
	基礎看護学 実習	基礎看護学実習	2	2	2	2
専門 分野 Ⅱ	臨地実習	成人看護学実習	3	3	3	3
		老年看護学実習	3	3	3	3
		小児看護学実習	3	3	3	3
		母性看護学実習	3	3	3	3
		精神看護学実習	3	3	3	3
統合	臨地実習	在宅看護論実習	3	3	3	3
		看護の統合と 実践実習		2	2	2
小 計			21	23	23	23

〈添削指導員の皆様と専任教員〉



〈成人看護学〉



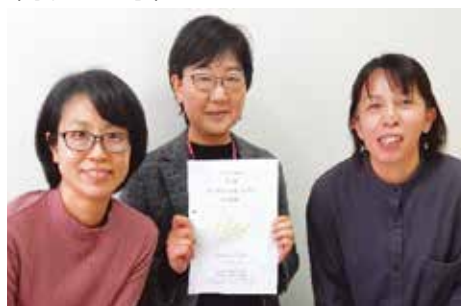
〈老年看護学〉



〈小児看護学〉



〈母性看護学〉



〈精神看護学〉



〈在宅看護論〉



〈看護の統合と実践〉



看護研究入門講座



1. テーマ：看護研究入門講座（看護研究の基礎）

2. 趣旨・目的

看護研究は、日々の看護実践のなかで「なぜ？ どうして？」「もっとこうなればいいのに！」という疑問や問題意識を客観的に筋道立てて思索することで研究につながる課題（テーマ）とし、感じたことを文字にする、意味を調べる、実践場面を丁寧に観察する、文献を読む、同僚や専門家と意見交換するなどを繰り返しながら、問題意識を深め、形にしていきます。『何を明らかにしたいのか』『どうすれば明らかになるのか』を念頭に置くことがポイントです。

このことについて、5回の講座を通して各自で研究計画書を作成し、データ分析の実際を経験してその後の看護研究につなげたいと思います。

3. 開催時期：令和4年1月～令和4年3月

研究Ⅰ：1月20日・1月24日・2月16日・3月3日・3月14日

研究Ⅱ：2月21日・2月28日・3月11日・3月22日・3月24日

4. 開催場所：鹿児島中央看護専門学校2年課程（通信制）看護科 慈愛会ビル4階

5. 実施者：専任教員 豊田智子（大学院前期修了者）



コンチネンス入門講座



1. テーマ：コンチネンスを知ろう（コンチネンス入門講座）

2. 趣旨・目的

「コンチネンス（continence）」とは、日々の生活の中で排泄をコントロールできている状態を表す言葉です。NPO 法人日本コンチネンス協会は、排泄トラブルの「予防」「対処」に関する情報提供、人材育成等を通して、コンチネンスケアの重要性を提唱しています。

失禁などの排泄障害は、その人の自尊心を傷つけ、生活範囲を狭めるなど、生活の質（QOL）を低下させてしまいます。また、高齢者だけでなく、ストレス性の排尿障害、子供、妊婦、避難所での排泄支援など、幅広い世代でさまざまな排泄の課題があります。

今回、コンチネンスに関する入門編を行い、少しでも現場の看護・介護で気持ちよく排泄が行えるように、さらに、自分自身の排泄コントロールにつなげていってほしいと思っています。



3. 開催時期

- 1) 令和4年1月21日（金）：排尿のアセスメントとケア・・・排尿日誌を使ってみよう。
- 2) 令和4年2月22日（火）：排便のアセスメントとケア・・・排便日誌でブリストルスケールを使ってみよう。

4. 開催場所：鹿児島中央看護専門学校2年課程（通信制）看護科 慈愛会ビル4階

5. 実施者：専任教員 丸山さゆり（NPO 法人日本コンチネンス協会会員、コンチネンスリーダー）





乳房管理の基礎講座



1. テーマ：適切な乳房管理について理解しよう（乳房管理の基礎）

2. 趣旨・目的

「堤式乳房マッサージ法」は、堤尚子氏（助産師、鍼灸師、按摩マッサージ師）によって考案された乳房マッサージ法で、東洋医学と西洋医学の双方の良い面を融合させた乳房管理法です。マッサージは指圧の「圧」を用い、赤ちゃんが母乳を吸っている状況と同じ心地よい刺激をもって行うため痛みを伴わないのが特徴です。また乳房を良い状態に保つためには血行を良くすることが重要と考え、産後のお母さんの育児による精神的な疲労や身体的疲労による体の変調（産後の回復状態、なれない育児での肩や背中凝り、冷えなど）の改善も図りながら乳房管理を行います。

「お母さんと赤ちゃんの笑顔のために」をモットーに、産前産後から日々変化する乳房に対して確かな技術と管理で様々なトラブルを解決して、母親と子の最初の関わりである授乳行為が楽しく愛情深いものとなるよう支援しています。2回の講座を通して、乳房管理の基礎的知識と適切な乳房管理の理解につなげたいと思います。

3. 開催時期：令和4年2月18日（金）、3月18日（金）

4. 開催場所：鹿児島中央看護専門学校2年課程（通信制）看護科 慈愛会ビル4階

5. 実施者：中村栄子（堤式乳房マッサージ法認定助産師）

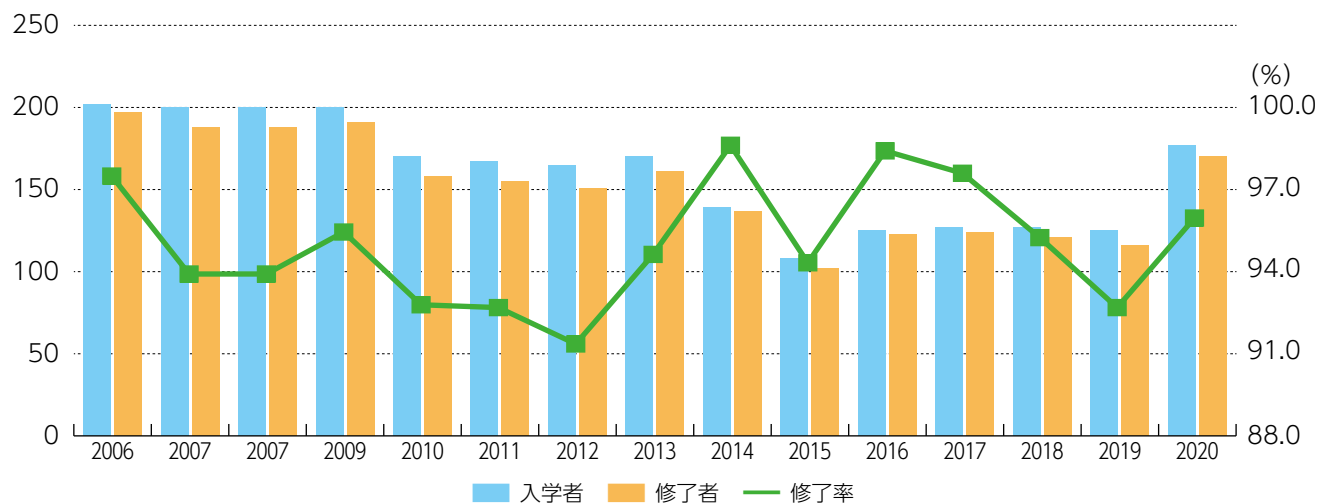


学生数の推移

【全 体】

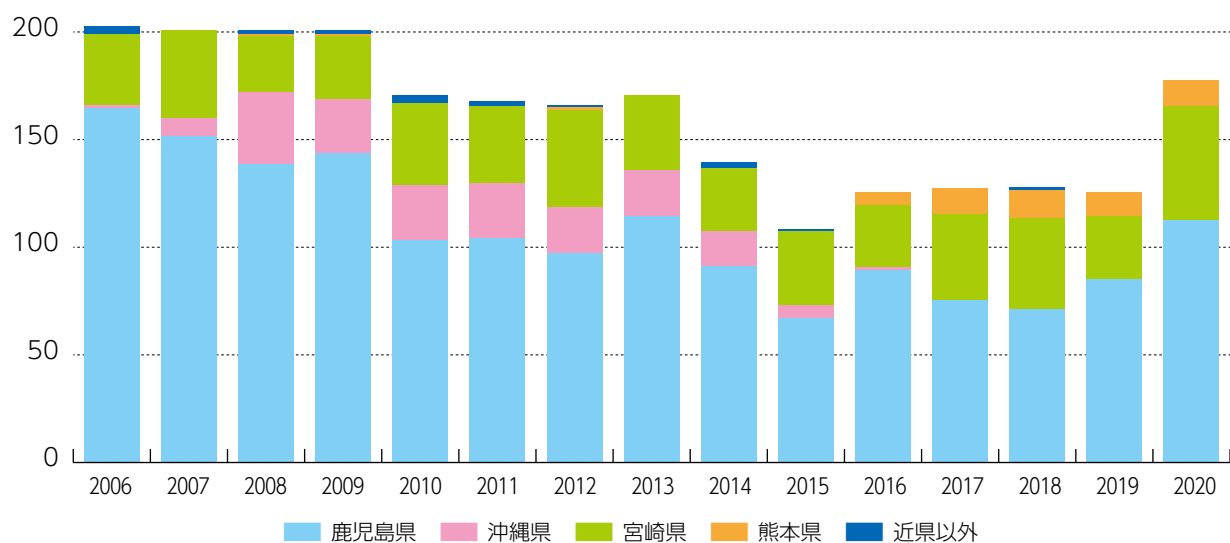
入 学 年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	総計
入 学 者	202	200	200	200	170	167	165	170	139	108	125	127	127	125	177	2,402
修 了 者	197	188	188	191	158	155	151	161	137	102	123	124	121	116	170	2,282
修 了 率	97.5%	94.0%	94.0%	95.5%	92.9%	92.8%	91.5%	94.7%	98.6%	94.4%	98.4%	97.6%	95.3%	92.8%	96.0%	95.0%

入学者および修了者の人数と修了率



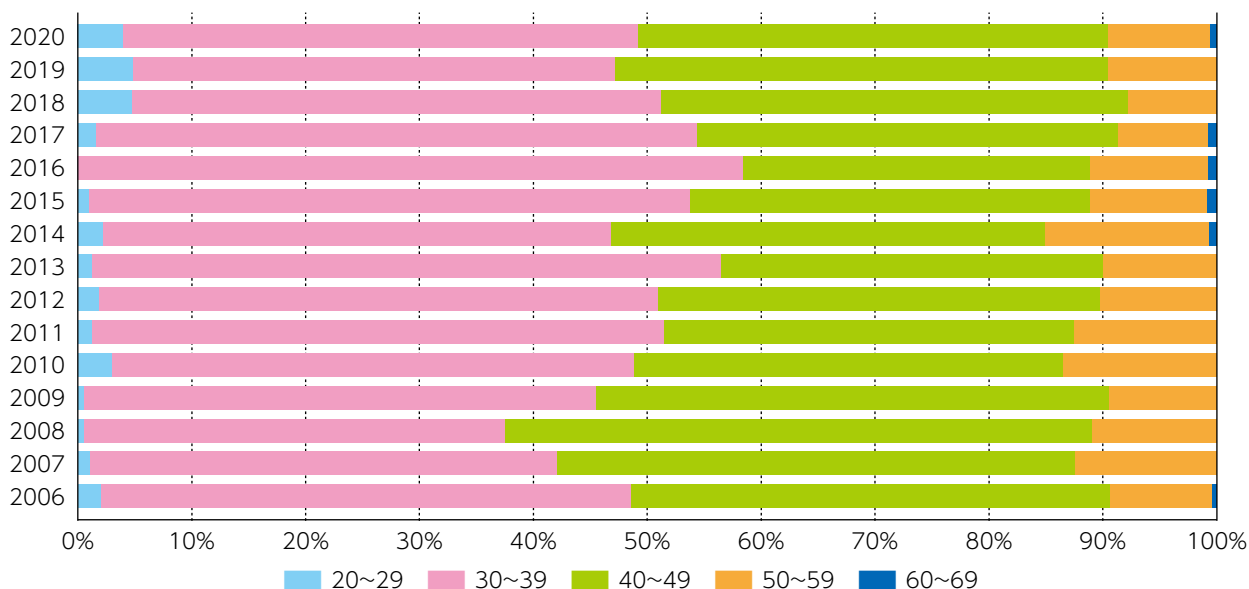
【出身地】

年 出身	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	総計
鹿児島県	164	151	138	143	103	104	97	114	91	67	89	75	71	85	112	1,604
沖縄県	1	8	33	25	25	25	21	21	16	6	1					182
宮崎県	33	41	26	29	38	36	45	35	29	34	29	40	42	29	53	539
熊本県			1	1			1				6	12	13	11	12	57
近県以外	4		2	2	4	2	1		3	1			1			20
総 計	202	200	200	200	170	167	165	170	139	108	125	127	127	125	177	2,402



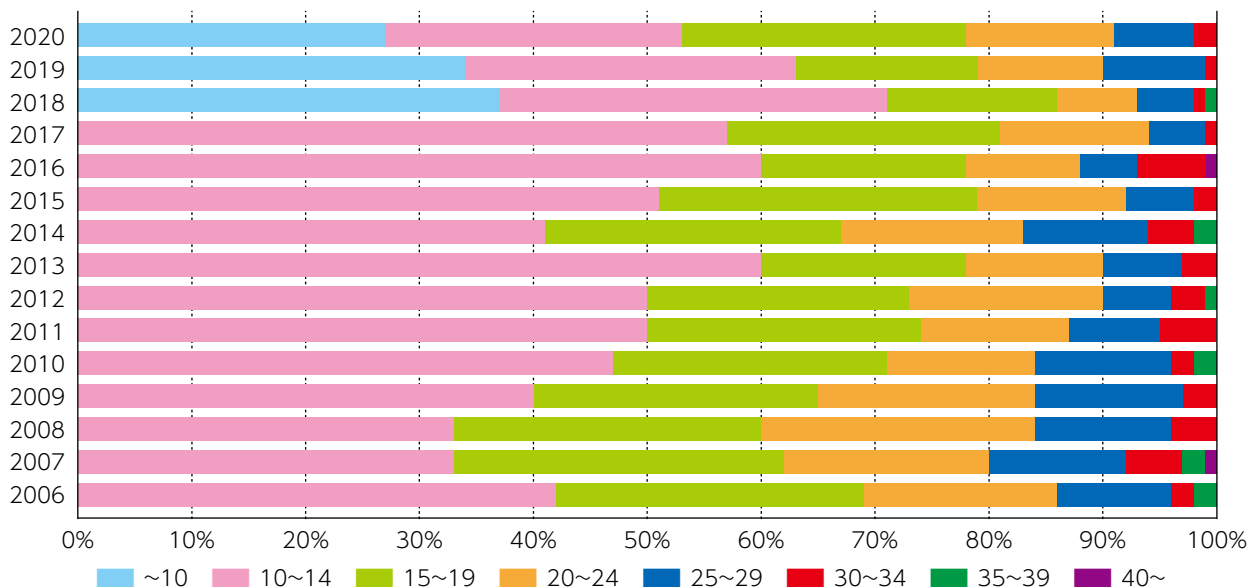
【年代別】

年代	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	計
20～29	4	2	1	1	5	2	3	2	3	1	0	2	6	6	7	45
30～39	94	82	74	90	78	84	81	94	62	57	73	67	59	53	80	1,128
40～49	85	91	103	90	64	60	64	57	53	38	38	47	52	54	73	969
50～59	18	25	22	19	23	21	17	17	20	11	13	10	10	12	16	254
60～69	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	6
	202	200	200	200	170	167	165	170	139	108	125	127	127	125	177	2,402



【就業経験年数別】

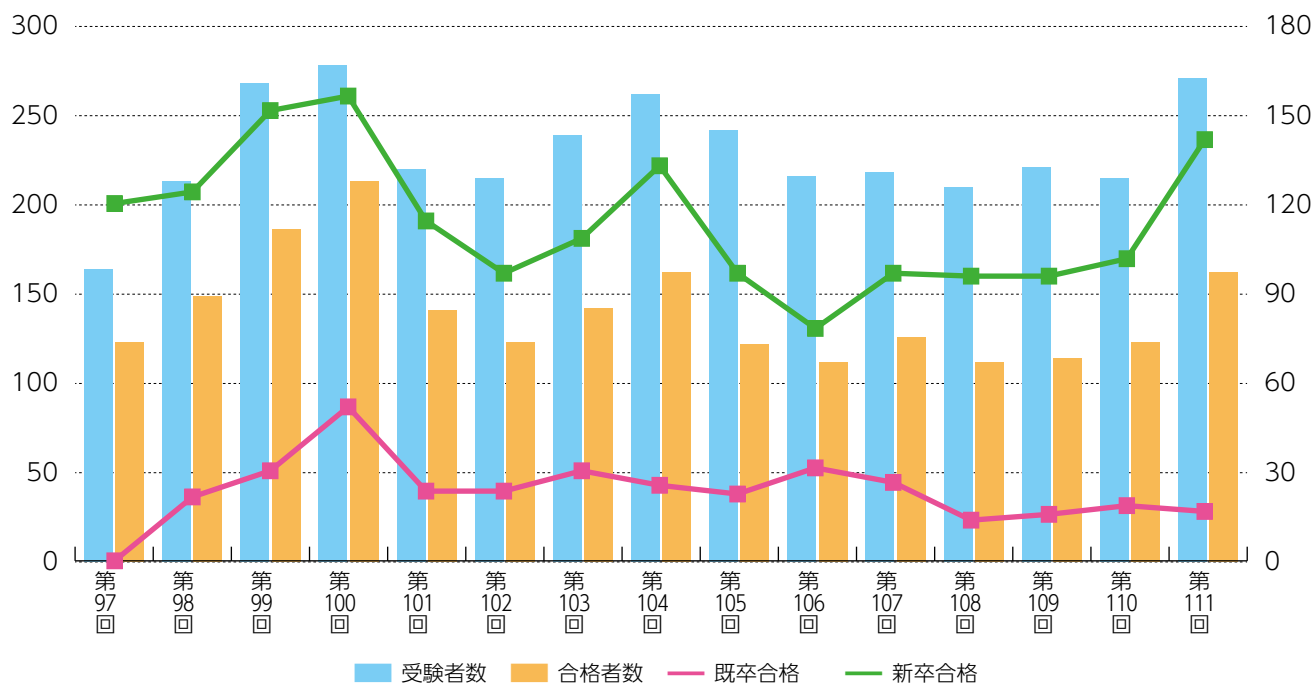
経験年数	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	計
～10													47	43	47	137
10～14	85	68	68	82	80	84	82	102	58	56	75	72	43	36	46	1,037
15～19	54	57	53	51	41	40	38	30	36	30	23	31	20	20	45	569
20～24	34	36	48	37	22	22	28	21	22	14	12	17	9	14	24	360
25～29	21	23	24	25	21	13	10	12	15	6	6	6	6	11	12	211
30～34	4	10	7	5	3	8	5	5	5	2	8	1	1	1	3	68
35～40	4	4			3		2		3				1			17
40～		2									1					3
	202	200	200	200	170	167	165	170	139	108	125	127	127	125	177	2,402



国家試験合格者の推移

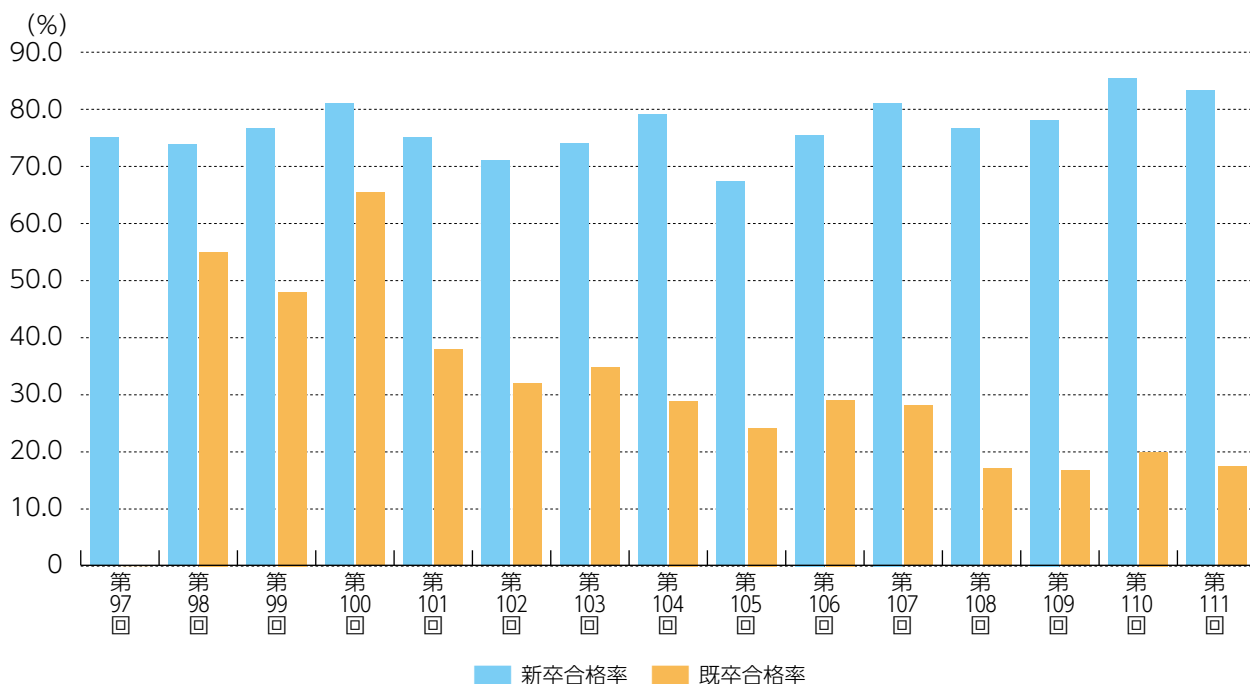
【合格者数】

	第97回	第98回	第99回	第100回	第101回	第102回	第103回	第104回	第105回	第106回	第107回	第108回	第109回	第110回	第111回
受験者数	164	213	268	278	220	215	239	262	242	216	218	210	221	215	271
合格者数	123	149	186	213	141	123	142	162	122	112	126	112	114	123	162
新卒合格	123	127	155	160	117	99	111	136	99	80	99	98	98	104	145
既卒合格	0	22	31	53	24	24	31	26	23	32	27	14	16	19	17



【合格率】

	第97回	第98回	第99回	第100回	第101回	第102回	第103回	第104回	第105回	第106回	第107回	第108回	第109回	第110回	第111回
新卒合格率	75.0%	73.8%	76.7%	81.0%	75.0%	71.0%	74.0%	79.1%	67.3%	75.5%	81.1%	76.6%	78.4%	86.7%	83.3%
既卒合格率		55.0%	48.0%	65.4%	38.0%	32.0%	34.8%	28.9%	24.2%	29.1%	28.1%	17.1%	16.7%	20.0%	17.5%



修了者および国家試験合格者数

令和4年3月31日

		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	計
入学者数		200	200	200	200	170	167	165	170	139	108	125	127	127	125	177	2,400
転入学数		2															2
修了生 人数	H20.3.15	164															164
	H21.3.9	25	148														173
	H22.3.11	4	37	163													204
	H23.3.10	3	2	18	174												197
	H24.3.8	1	1	3	15	137											157
	H25.3.7				2	8	129										139
	H26.3.10			4		9	18	119									150
	H27.3.10					2	5	26	140								173
	H28.3.10					2	1	4	19	122							148
	H29.3.9						1	2		11	92						106
	H30.3.8						1		2	2	6	111					122
	H31.3.6									1	3	10	116				130
	R2.3.10									1		1	6	117			125
	R3.3.10										1		1	4	114		120
	R4.3.9											1	1	0	2	170	174
	修了生計	197	188	188	191	158	155	151	161	137	102	123	124	121	116	170	2,282
国試合格 者人数	H20.3.26	123															123
	H21.3.26	33	116														149
	H22.3.26	12	50	124													186
	H23.3.25	14	14	37	148												213
	H24.3.26	4	2	7	21	107											141
	H25.3.25	2	1	2	3	20	95										123
	H26.3.25			3	3	10	27	99									142
	H27.3.25	1	1	2	3	3	10	28	114								162
	H28.3.25				1	3	6	5	25	82							122
	H29.3.27				1	1	1	2	9	22	76						112
	H30.3.26	1					2	3	2	11	14	93					126
	H31.3.22								2	3	4	10	93				112
	R2.3.19							1		1		5	12	95			114
	R3.3.26					1	1		1	3	1	2	2	12	100		123
	R4.3.25	1			1			1	1	2	1	2	1	4	4	144	162
	合格者計	191	184	175	181	145	142	139	154	124	96	112	108	111	104	144	2,110

歴代の教職員

年度		平成 17 年（準備室）	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
担当者	校長	今村 利朗	今村 利朗	今村 利朗	今村 利朗	富安 恵子
	顧問	今村 節子	今村 節子 中蘭 博子	今村 節子 中蘭 博子	今村 節子	今村 節子
	副校長	中蘭 博子	富安 恵子	松下チズ子	松下チズ子	松下チズ子
	事務長	柴 茂樹	柴 茂樹	逆瀬川大作	金氣 寛	金氣 寛
	教務主任	松下チズ子	松下チズ子	島田 京子	島田 京子	島田 京子
	実習担当主任	島田 京子	島田 京子	南 ひとみ	南 ひとみ	南 ひとみ
	薬理学	－	前山 純次	前山 純次	前山 純次	前山 純次
	病理学	－	佐藤 榮一	佐藤 榮一	佐藤 榮一	坂江 清弘
	基礎看護学	南 ひとみ	南 ひとみ 他数名	南 ひとみ 他数名	南 ひとみ 他数名	南 ひとみ 他数名
	成人看護学	島田 京子	島田 京子	島田 京子	津曲くみ子	津曲くみ子 丸山さゆり
	老年看護学	柚木 直子	柚木 直子	柚木 直子	柚木 直子	柚木 直子
	小児看護学	古城 文代	中道 節子	中道 節子	徳永 唱子	徳永 唱子
	母性看護学	古城 文代	古城 文代	古城 文代	古城 文代	大角ゆかり 古城 文代
	精神看護学	松下チズ子	神野 誠	神野 誠	神野 誠	神野 誠
	在宅看護論	柚木 直子	御領園宏子	御領園宏子	坂口 美香	坂口 美香
	事務主任	－	－	－	－	井上 誠
	事務副主任	－	－	－	飯田 珠美	飯田 珠美
	事務員	飯田 珠美	飯田 珠美 濱下 千浪	飯田 珠美 濱下 千浪	濱下 千浪 堂地いづみ	濱下 千浪 堂地いづみ

年度		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
担当者	校長	富安 恵子	富安 恵子	富安 恵子	富安 恵子	富安 恵子
	顧問	今村 節子	今村 節子	今村 節子	今村 節子	今村 節子
	副校長	松下チズ子	松下チズ子	松下チズ子	原田ゆう子	原田ゆう子
	事務長	金氣 寛	金氣 寛	金氣 寛	金氣 寛	金氣 寛
	教務主任	島田 京子	島田 京子	島田 京子	島田 京子	南 ひとみ
	実習担当主任	南 ひとみ	南 ひとみ	南 ひとみ	南 ひとみ	野間かず子
	薬理学	前山 純次	前山 純次	前山 純次	前山 純次	前山 純次
	病理学	坂江 清弘	坂江 清弘	坂江 清弘	坂江 清弘	坂江 清弘
	社会福祉	田畑 洋一	田畑 洋一 大山 朝子	大野さおり	大野さおり	大野さおり
	基礎看護学	南 ひとみ 他数名	南 ひとみ 他数名	南 ひとみ 他数名	南 ひとみ 他数名	南 ひとみ 他数名
	成人看護学	島田 京子	島田 京子 松山日美子	野間かず子	野間かず子	野間かず子
	老年看護学	柚木 直子	柚木 直子	柚木 直子	柚木 直子	柚木 直子
	小児看護学	徳永 唱子	徳永 唱子	徳永 唱子	徳永 唱子	徳永 唱子
	母性看護学	古城 文代	古城 文代	古城 文代	古城 文代	古城 文代 中村 栄子
	精神看護学	神野 誠	神野 誠	神野 誠	神野 誠	神野 誠
	在宅看護論	指宿 敏江	指宿 敏江	指宿 敏江	指宿 敏江	指宿 敏江
	看護の統合と実践	丸山さゆり 他数名	丸山さゆり	丸山さゆり	丸山さゆり	松元八重子
	事務主任	井上 誠	－	飯田 珠美	飯田 珠美	飯田 珠美
	事務副主任	飯田 珠美	飯田 珠美	－	－	－
	事務員	濱下 千浪 堂地いづみ	濱下 千浪 金子 ゆり	濱下 千浪 金子 ゆり	濱下 千浪 金子 ゆり	濱下 千浪 金子 ゆり

歴代の教職員

年度		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
担当者	校長	今村 英仁	今村 英仁	今村 英仁	今村 英仁	今村 英仁
	顧問	今村 節子	今村 節子	今村 節子	今村 節子	今村 節子
	副校長	南 ひとみ	南 ひとみ	南 ひとみ	南 ひとみ	南 ひとみ
	事務長	金氣 寛	田中 宏一	飯田 珠美	飯田 珠美	飯田 珠美
	教務主任	指宿 敏江	指宿 敏江	指宿 敏江	指宿 敏江	指宿 敏江
	実習担当主任	野間かず子	野間かず子	野間かず子	野間かず子	野間かず子
	教務・実習副主任			神野 誠	神野 誠	神野 誠
	薬理学	前山 純次	前山 純次	前山 純次	前山 純次	前山 純次
	病理学	坂江 清弘	坂江 清弘	坂江 清弘	坂江 清弘	坂江 清弘
	社会福祉	大野さおり	大野さおり	田畑 洋一	田畑 洋一	田畑 洋一
	基礎看護学	高橋 芳子 他数名	川崎 里砂 他数名	川崎 里砂 他数名	川崎 里砂 他数名	川崎 里砂 他数名
	成人看護学	野間かず子	野間かず子	野間かず子	野間かず子	野間かず子
	老年看護学	豊田 智子	豊田 智子	豊田 智子	豊田 智子	豊田 智子
	小児看護学	中村 栄子	中村 栄子	中村 栄子	中村 栄子	中村 栄子
	母性看護学	古城 文代	飯伏 弘美	飯伏 弘美	飯伏 弘美	飯伏 弘美
	精神看護学	神野 誠	神野 誠	神野 誠	神野 誠	神野 誠
	在宅看護論	福元 重子	福元 重子	福元 重子	福元 重子	福元 重子
	看護の統合と実践	飯伏 弘美	丸山さゆり	丸山さゆり	丸山さゆり	丸山さゆり
	事務主任	飯田 珠美	飯田 珠美	—	—	—
	事務副主任	—	—	濱下 千浪	濱下 千浪	濱下 千浪
	事務員	濱下 千浪 金子 ゆり	濱下 千浪 金子 ゆり	梶 由香利	梶 由香利	梶 由香利 永吉亜希世

年度		令和 2 年	令和 3 年
担当者	校長	今村 英仁	今村 英仁
	顧問	今村 節子 大保まり子	今村 節子 大保まり子
	副校長	南 ひとみ	南 ひとみ
	事務長	飯田 珠美	飯田 珠美
	教務主任	指宿 敏江	指宿 敏江
	実習担当主任	中村 栄子	中村 栄子
	薬理学	川畑 敏之	川畑 敏之
	病理学	坂江 清弘	坂江 清弘
	社会福祉	田畑 洋一	田畑 洋一
	基礎看護学	川崎 里砂 他数名	指宿 敏江
	成人看護学	野間かず子	野間かず子
	老年看護学	豊田 智子	豊田 智子
	小児看護学	中村 栄子	中村 栄子
	母性看護学	飯伏 弘美	飯伏 弘美
	精神看護学	神野 誠 坂口 美香	坂口 美香
	在宅看護論	福元 重子	福元 重子
	看護の統合と実践	丸山さゆり	丸山さゆり
	事務副主任	濱下 千浪	濱下 千浪
	事務員	梶 由香利 永吉亜希世	永吉亜希世



編集後記

鹿児島中央看護専門学校2年課程(通信制)看護科は、平成18年4月に3年課程看護科に併設し、これまで16年間、准看護師から看護師へのキャリアアップのために看護教育を行ってきました。そして令和4年3月31日をもって閉課程となりました。これまでご尽力いただいた皆様方にご寄稿いただき、記念誌として形に残すことができたことをこころよりうれしく思います。無事に記念誌の発行ができ、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

平成17年に開設準備室が設置され、看護師教育を通信制で行うという教育課程の編成に戸惑いながら準備室メンバーで討論を続けたことがつい先日のように思い出されます。開設の年200名の学生が入学しました。あまりの学生の多さに圧倒され、面接授業や病院見学実習が成立つのだろうかと不安を抱えながらのスタートでした。学生は年齢、就業経験、就業場所も様々ですが、看護師資格取得という夢を現実にするために、仕事・家庭・子育て・介護などに加えて学生としても一歩を踏みだし、日々努力の毎日でした。学校を無事に修了し、看護師免許を取得する、更に研鑽を積み看護管理者や学士取得など活躍している姿に胸が熱くなりました。この教育の意義の大きさを改めて痛感しております。

看護師免許取得者は2,110名と多くの看護師を輩出することができました。今後はさらに2年課程通信制で学んだ修了生の皆様が鹿児島県をはじめ南九州地域の看護の質向上に寄与し今後も看護師として輝き続けられることを祈念いたします。

おわりに、記念誌作成にあたりお忙しい中、原稿をお寄せいただきました皆様方、記念誌を発行するにあたり編集を担当した指宿敏江様、飯田珠美様、瀧下千浪様に感謝申し上げます。

2022年3月

編集：南 ひとみ

2年課程(通信制)看護科 記念誌

発行日	令和4年6月29日
発行	公益財団法人 慈愛会 鹿児島中央看護専門学校 〒892-0822 鹿児島市泉町1番15号 Tel 099-226-1201 Fax 099-226-1228
編集	南 ひとみ・指宿 敏江 濱下 千浪・飯田 珠美
印刷・製本	株式会社 朝日印刷

奨学と慈愛

期待する卒業生像

- 人間を共通する一般性と個別性とが統合された多様な価値観を持った存在としてとらえ、人間理解をさらに深めることができる。
- 健康は環境との相互作用や心身関連の関係であると理解し、健康の保持増進及び疾病予防のための活動に積極的に参加できる。
- 医療倫理・看護倫理に基づき個人を尊重し、受容的・共感的態度で家族を含めた対象と良好な人間関係を築くことができる。
- 科学的根拠に基づいた的確な看護判断を行い、様々な看護技術を駆使して対象の安全・安楽を確保できる。
- 保健・医療・福祉の現状と課題を社会の動向との関連性の中で、包括的にとらえることができ、人々がセルフケア能力を高めるために必要な社会資源の適切な活用を支援できる。
- 医療専門職として専門性と自立性を発揮し、医療関係職種・福祉関係職種との適切な役割分担と連携のもとに、チームメンバーとしての責務を果たすことができる。
- 専門職業人として最新の知見を活用し看護実践するために、生涯にわたり主体的な学習が継続できる。



鹿児島中央看護専門学校
2年課程(通信制)看護科



鹿児島中央看護専門学校
2年課程(通信制)看護科